

第6次川島町総合振興計画

# 実施計画

第6次川島町総合振興計画 前期基本計画 代表事業

[令和6（2024）年度～令和8（2026）年度]

令和5年12月

川島町

## 1 第6次川島町総合振興計画における実施計画について

総合振興計画は、まちづくりの柱として町の最上位計画に位置付けられており、町の将来像や基本理念、将来像を実現するための戦略目標などを体系化し、その取組の指針を示すものです。

総合振興計画は、「基本構想」「基本計画」「実施計画」で構成されており、計画書に掲載している基本構想及び基本計画を具体化するための取組を、「実施計画」に取りまとめています。

### (1) 基本構想

令和3(2021)年度から12(2030)年度までの10年間で展望し、まちづくりの方向性や将来像を示すものです。

基本構想では、基本理念「ここが好き、やっぱり好き」に基づく政策の達成状況を検証する指標として、まちづくり総合目標「住みよさ町民満足度」を設定しています。

### (2) 基本計画

基本構想の計画期間を前半5年間と後半5年間に分け、それぞれの期間で将来像の実現に向けた各施策の方向性、目標等を示すものです。

基本計画では、戦略目標ごとに評価指標、施策ごとにKPIを設定して進捗状況を検証します。

### (3) 実施計画

基本計画で示す施策の効果的な実現に向けた具体的な事業を示すものです。計画期間を3年間とし、1年ごとに財政状況を基に内容を見直し、公表します。

## 2 実施計画の概要

### (1) 実施計画作成の主旨

実施計画は、第6次川島町総合振興計画前期基本計画の実行計画であり、計画期間における事業の優先順位の決定と予算編成方針の基礎資料となるものです。実施計画の策定にあたっては、社会情勢の変化や緊急度が高く集中的に対応する新たな取組を反映させるため、3年ごとのローリングシステムを採用します。

### (2) 実施計画の期間

期間は、令和6(2024)年度から令和8(2026)年度までの3年間とします。

### (3) 本資料の対象事業

(2)で掲げる期間に実施される事業であり、第6次川島町総合振興計画前期基本計画に位置付けられた8の重要施策、39の主な施策と特に関連のある「代表事業」を対象に調書を作成し、取りまとめています。

その他、各施策に関連する事業は、所管課において予算化した上で実施しています。

### (4) 留意事項

- ・代表事業調書に掲載された事業費は、概算事業費として計上しています。予算化に向けては、詳細な事業設計や事業費の精査を行った上で、当該年度の当初予算編成が行われます。
- ・初期の目的を達成した代表事業は、川島町総合振興計画審議会による検証を経た後に変更します。

### 3 評価方法

各施策に設定した評価指標の実績値が、目標値に対して基準値からどの程度まで達成しているか（達成率）について、下表に基づき評価します。

**達成率計算式**  $(\text{現状値} - \text{基準値}) / (\text{目標値} - \text{基準値})$  （小数点第2位以下切捨）

評価		達成率
A	目標達成に向け進んでいる	100%以上
B	目標達成に向け概ね進んでいる	75～100%未満
C	目標達成に向けやや遅れがある	50～75%未満
D	目標達成に向け遅れがあり、改善や工夫が必要と思われる	50%未満

※達成率の把握ができていない事業は「-」としています。

※数値基準のない事業や令和7年度達成に向けて進めている事業については、進捗状況により評価しています。

A：スケジュールどおり実施した

B：スケジュールを概ね実施した

C：スケジュールにやや遅れがある

D：スケジュールに遅れがある、または未実施

#### 4 まちづくり総合目標「住みよさ町民満足度」

基本理念「ここが好き、やっぱり好き」に基づいて実施する各種施策の達成状況を検証するため、「住みよさ町民満足度」を本町の独自指標として設定します。

指標は、町民アンケートにおける「住みよさ」に関する設問の回答を点数化した上で平均値を求め、達成度を数値化して算出します。これにより、町民の皆さまが川島町に居住することについてどの程度満足しているか測定します。

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
住みよさ町民満足度	目標	-	63.7%	64.2%	64.7%	65.2%	66.0%	66.8%
	実績	63.2%	63.4%	61.0%				
評価指標設定理由								
様々なまちづくりの取組の成果を測定するため、本町独自の評価指標として「住みよさ町民満足度」を設定し、町民の皆さまが心身ともに充実した生活を送っているかを確認する。	評価	-	D	D				

## 5 戦略目標ごとの代表事業

### 戦略目標1 まもる「未来に続く安全・安心な暮らしをまもる」施策別 代表事業実施計画

No.	施策名	代表事業名	概算事業費（千円）		
			R6	R7	R8
重要1	災害に備える環境整備	高台避難場所整備事業	310,000	317,500	317,500
重要2	持続可能な循環型社会の実現	ゼロ・ウェイスト推進事業	5,395	5,395	4,395
1	自治・コミュニティの振興	コミュニティ推進事業	23,657	23,657	23,657
2	消防・防災体制の充実	自主防災組織育成事業	2,239	2,239	2,239
3	人権尊重・男女共同参画の推進	男女共同参画推進事業	258	258	258
4	交通安全の推進	交通安全対策事業	11,439	11,439	11,439
5	健康づくりの推進	健康管理システム整備事業	3,910	3,910	3,910
6	福祉のまちづくり	社会福祉総務事業	15,763	15,763	15,763
7	障がい者福祉の充実	障害者自立支援事業	13,661	13,661	13,661
8	高齢者福祉の充実	生活支援体制整備事業	4,009	4,009	4,009
9	社会保障の充実	特定健康診査等事業	28,583	28,583	28,583
10	ごみ処理適正化の推進	新ごみ処理施設整備推進事業	27,432	241,582	122,782
11	自然環境と共生するまちづくり	公害対策事業	2,220	2,220	2,220
12	緑あふれる安心空間の整備	都市公園等の維持管理の充実	76,978	78,711	76,712
13	安心して暮らすための河川の整備	排水路整備事業	31,250	33,750	30,750
14-1	住みよいまちづくり	都市計画総務事業	200	300	300
14-2		空き家対策推進事業	24,900	22,900	22,900
15	上下水道の整備・維持管理及び生活排水対策	雨水幹線整備事業	11,600	340,000	342,000
16	安全に通行できる道路の整備	主要幹線道路整備事業	35,000	35,000	35,000
17	持続可能な公共交通網の形成	地域公共交通対策事業	16,007	16,007	16,007
18	農地保全と有効利用	農地中間管理事業	10,391	24,246	24,246
19	公共施設の適正な管理	公共施設等総合管理事業	0	0	0
20	適正な行財政運営の推進	計画行政推進事業	735	4,145	735
年度ごと概算事業計			655,627	1,225,275	1,099,066

## 戦略目標1 評価指標

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
住み続けたいと思う町民の割合	目標	-	71.1%	71.3%	71.5%	71.7%	72.0%	72.2%
	実績	70.9%	70.5%	65.8%				
評価指標設定理由								
戦略目標1で掲げる取組の成果を測定するため、「住み続けたいと思う町民の割合」を設定し、町民の皆さまが安全・安心な暮らしを送っているかを確認する。	評価	-	D	D				

No.	重要1	戦略目標	まもる	施策名	災害に備える環境整備	分類	継続
実施計画事業名	高台避難場所整備事業	予算書事業名	高台避難場所整備事業	関連計画	川島町地域防災計画	計画期間	- ~ - 年度

事業目的	大規模水害の際に町外に避難することが困難な場合に備え、高台避難場所を整備する。	評価の考え方及び今後の対応策	令和3年度に高台避難場所整備計画案を作成し、地権者への説明会を実施して意見等を伺った。令和4年度は測量・地質調査・設計を進め、地権者及び関係者へ丁寧な説明を行った。令和5年度は用地を取得のため、引き続き地権者等へ説明を行いながら事業を進める
------	---	----------------	--

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
各年度の事業概要	・測量設計業務委託	・土地購入費 ・物件補償費 ・物件調査	・工事	・工事	・工事

年度 (単位:千円)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (当初予算額)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費	73,500	83,738	310,000	317,500	317,500
財源内訳	国庫支出金	32,300	26,000	155,000	158,750
	県支出金				
	地方債		46,800	139,500	142,875
	その他				
一般財源	41,200	10,938	15,500	15,875	15,875

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標	基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
高台避難場所の箇所数	目標	-	計画	測量・設計	用地取得	アクセス道路・水路・基面整備	地盤改良・調整池・盛土
評価指標設定理由	実績	計画素案作成	計画策定	測量・設計			
大規模水害時、避難が困難な場合、緊急的な避難をする場所が必要となるため、5年で1箇所を設定した。	評価	-	A	B			



No.	重要2	戦略目標	まもる	施策名	持続可能な循環型社会の実現	分類	継続
実施計画事業名	ゼロ・ウェイスト推進事業	予算書事業名	4R運動推進事業	関連計画	一般廃棄物処理基本計画	計画期間	- ~ - 年度

事業目的	持続可能な循環型社会の形成に向けた施策を展開する	評価の考え方 及び 今後の対応策	ゼロ・ウェイストに向けて様々な施策を実施する。ゼロウェイストの中でも、まずは可燃ごみの削減に重点を置き、可燃ごみの中でも生ごみ、紙類の施策について検討する。 生ごみ処理容器等購入補助を令和5年度から実施し、ごみ量の削減に努めていく。
------	--------------------------	------------------------	---

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
各年度の事業概要	ゼロ・ウェイストに向けて新たな施策の検討、実施 ・プラスチック削減事業(ペットボトルの削減及びマイボトルの普及促進)の推進	ゼロ・ウェイストに向けて新たな施策の検討、実施 ・集団資源回収補償金単価の改定	ゼロ・ウェイストに向けて新たな施策の検討、実施 ・生ゴミ再資源化事業(事業系生ごみの再資源化検討) ・生ゴミ処理容器等購入費補助	ゼロ・ウェイストに向けて新たな施策の検討、実施 ・ごみ処理手数料の検証 ・生ゴミ処理容器等購入費補助	ゼロ・ウェイストに向けて新たな施策の検討、実施 ・報奨金単価の検証 ・生ゴミ処理容器等購入費補助

年度 (単位:千円)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (当初予算額)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費	764	1,898	5,395	5,395	4,395
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源	764	1,898	5,395	5,395	4,395

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
1人1日あたりのごみ総排出量 (可燃ごみ排出量)	目標	-	922g/人・日 (可燃469g/人・日)	915g/人・日 (可燃465g/人・日)	907g/人・日 (可燃461g/人・日)	905g/人・日 (可燃460g/人・日)	899g/人・日 (可燃457g/人・日)	894g/人・日 (可燃455g/人・日)
	実績	947g/人・日	937g/人・日 (可燃477g/人・日)	918g/人・日 (可燃467g/人・日) (暫定値)				
評価指標設定理由								
ごみの減量化を図る指数であるため。	評価	-	D	D				

No.	1	戦略目標	まもる	施策名	自治・コミュニティの振興	分類	継続
実施計画事業名	コミュニティ推進事業		予算書事業名	自治振興事業	関連計画	計画期間	- ~ - 年度

事業目的	各自治会の活動推進及び充実を図ると共に、自治会、区長、区長会等との連絡・調整・支援を実施する。	評価の考え方及び今後の対応策	自治・コミュニティの推進について、自治会は、その目的にあった事業を推進し、地域住民の参加のもと、町はその活動を支援することが重要である。支援については、区長会等の協力を得て、自治会の課題やニーズを把握したなかで、補助事業の見直しや効果的な方法への改善、助言などを行う。自治会等の活動の充実化を図り、誰もが参加しやすくなるような環境整備を推進する。自治会活動の中心となる集会所の修繕等の必要性を把握するため、各自治会に対してアンケート調査を行い、結果を基に補助金のメニューや補助率を適宜検討する。統合、再編について、行政区の人口が少ない地区や、自治会間で交流のある地区を優先に検討する。自治会のあり方を調査するため、令和4年度に区長に対してアンケートを実施した。令和4年度に実施したアンケート結果を踏まえて、今後の行政区の規模や区長の負担軽減の方法を検討する。
------	---	----------------	---

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
各年度の事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>各自治会に対する補助(自治会運営費助成金、地縁団体事務費助成金等)</li> <li>コミュニティ推進協議会に対する補助(地区コミュニティ活動事業補助金)</li> <li>コミュニティ助成事業((一財)自治総合センター)を活用した集会所整備事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各自治会に対する補助(自治会運営費助成金、地縁団体事務費助成金等)</li> <li>コミュニティ推進協議会に対する補助(地区コミュニティ活動事業補助金)</li> <li>コミュニティ助成事業((一財)自治総合センター)を活用した集会所整備事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各自治会に対する補助(自治会運営費助成金、地縁団体事務費助成金等)</li> <li>コミュニティ推進協議会に対する補助(地区コミュニティ活動事業補助金)</li> <li>コミュニティ助成事業((一財)自治総合センター)を活用した集会所整備事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各自治会に対する補助(自治会運営費助成金、地縁団体事務費助成金等)</li> <li>コミュニティ推進協議会に対する補助(地区コミュニティ活動事業補助金)</li> <li>コミュニティ助成事業((一財)自治総合センター)を活用した集会所整備事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各自治会に対する補助(自治会運営費助成金、地縁団体事務費助成金等)</li> <li>コミュニティ推進協議会に対する補助(地区コミュニティ活動事業補助金)</li> <li>コミュニティ助成事業((一財)自治総合センター)を活用した集会所整備事業</li> </ul>

年度 (単位:千円)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (当初予算額)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費	22,543	23,657	23,657	23,657	23,657
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他	1,200	2,100	2,100	2,100
一般財源	21,343	21,557	21,557	21,557	21,557

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標	基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
自治会加入率	目標	-	77.6%	78.2%	78.8%	79.4%	80.0%	80.6%
評価指標設定理由	実績	77.0%	76.5%	75.8%				
自治会加入率の増減により測定する。	評価	-	D	D				

No.	2	戦略目標	まもる	施策名	消防・防災体制の充実	分類	継続
実施計画事業名	自主防災組織育成事業	予算書事業名	災害対策事業	関連計画	川島町地域防災計画	計画期間	- ~ - 年度

事業目的	自主防災組織への防災意識の向上や、防災体制の支援などを通じて、地域防災力の向上を図り、安全・安心なまちづくりを推進する。	評価の考え方 及び 今後の対応策	自主防災組織ごとに、防災を推進する人材が不足しているため、防災意識が高い地域と低い地域とで差が生じている。地域防災リーダーを育成し、各地域に配置することで、防災力向上を図る必要がある。令和4年度において、防災士の取得補助のメニューを新設し、防災リーダーとなりうる人材への支援を開始した。防災意識の高い地域をモデルケースとし、他地域へ啓発を図っていく。
------	--	------------------------	---

各年度の事業概要	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	・防災アドバイザーの任命 ・自主防災組織への補助	・防災アドバイザーの任命 ・自主防災組織への補助	・防災アドバイザーの任命 ・自主防災組織への補助	・防災アドバイザーの任命 ・自主防災組織への補助	・防災アドバイザーの任命 ・自主防災組織への補助

年度 (単位:千円)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (当初予算額)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費	1,701	2,239	2,239	2,239	2,239
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源	1,701	2,239	2,239	2,239	2,239

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標	基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
地域防災リーダーの人数	目標	-	8人	9人	11人	13人	15人
評価指標設定理由	実績	7人	6人	6人			
地域の防災リーダーを育成するため、5年で2倍の15人を想定し、その5年後にさらに2倍の30人を設定した。	評価	-	D	D			

No.	3	戦略目標	まもる	施策名	人権尊重・男女共同参画の推進	分類	継続	
実施計画事業名	男女共同参画推進事業		予算書事業名	男女共同参画推進事業	関連計画	川島町男女共同参画推進計画	計画期間	- ~ - 年度

事業目的	性別に関わりなく個人として能力を発揮できる機会が確保され、人権が尊重されている社会の実現を目指し、【意識づくり】【環境づくり】【社会づくり】の3つの柱を基本として、啓発や講座・研修会の開催など、各種施策を実施していく。	評価の考え方及び今後の対応策	町民アンケートに加え、啓発事業実施の際にアンケート調査を実施し、事業の認知度や人権、男女共同参画に関する意識調査を実施した。各種取り組みの認知度が低いことから、様々な広報媒体(広報紙、町HP、かわべえメール、町公式LINEなど)を活用し、認知度を向上させ、人権・男女共同参画に関する意識向上を図る。
------	---	----------------	---

各年度の事業概要	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	・男女共同参画推進委員会 ・男女共同参画研修会 ・各種啓発事業の実施(啓発物資配布、掲示物展示等)	・男女共同参画推進委員会 ・男女共同参画研修会 ・各種啓発事業の実施(啓発物資配布、掲示物展示等)	・男女共同参画推進委員会 ・男女共同参画研修会 ・各種啓発事業の実施(啓発物資配布、掲示物展示等)	・男女共同参画推進委員会 ・男女共同参画研修会 ・各種啓発事業の実施(啓発物資配布、掲示物展示等)	・男女共同参画推進委員会 ・男女共同参画研修会 ・各種啓発事業の実施(啓発物資配布、掲示物展示等)

年度 (単位:千円)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (当初予算額)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費	191	258	258	258	258
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源	191	258	258	258	258

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
人権教育に満足していない町民の割合	目標	-	10.6%	10.3%	10.1%	9.9%	9.7%	9.5%
	実績	10.9%	13.1%	15.6%				
評価指標設定理由	評価	-	D	D				
町民アンケートにより、人権教育に対して満足していない町民の割合を測定する。前回アンケートからの大いに不満に思う方の減少割合を目標に設定(5年間で1.2%減少)。								

No.	4	戦略目標	まもる	施策名	交通安全の推進	分類	継続	
実施計画事業名	交通安全対策事業		予算書事業名	交通安全対策事業		関連計画	計画期間	- ~ - 年度

事業目的	交通事故のない、だれもが安全で安心して暮らせる社会を実現するため、交通事故防止のための普及啓発、交通安全施設である防犯灯の設置や適正な維持管理を推進する。	評価の考え方及び今後の対応策	交通安全街頭キャンペーンの実施、園児・児童・高齢者への啓発品の配布、危険箇所への注意喚起看板の設置など、継続的な啓発事業を実施したが、事故件数が増加したため、D評価とした。今後においても、交通事故を1件でも減らしていくため、警察をはじめとする関係機関と連携した取組の継続、交通事故の発生場所をデータ化し、より効果的に注意喚起看板を設置するなど、交通安全対策を推進する。さらに、道路交通法の改正により、自転車ヘルメットの着用が努力義務化(R5.4~)されたことを受け、着用率・交通安全意識向上を図るための、新たな取組を進めていく。
------	---	----------------	--

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
各年度の事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通指導員の運営</li> <li>防犯灯設置工事</li> <li>東松山交通安全協会参画</li> <li>交通安全協会川島支部への補助</li> <li>交通安全母の会連合会への補助</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通指導員の運営</li> <li>防犯灯設置工事</li> <li>東松山交通安全協会参画</li> <li>交通安全協会川島支部への補助</li> <li>交通安全母の会連合会への補助</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通指導員の運営</li> <li>防犯灯設置工事</li> <li>東松山交通安全協会参画</li> <li>交通安全協会川島支部への補助</li> <li>自転車ヘルメット購入への補助</li> <li>八幡団地自治会防犯灯電気代の補助</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通指導員の運営</li> <li>防犯灯設置工事</li> <li>東松山交通安全協会参画</li> <li>交通安全協会川島支部への補助</li> <li>自転車ヘルメット購入への補助</li> <li>八幡団地自治会防犯灯電気代の補助</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通指導員の運営</li> <li>防犯灯設置工事</li> <li>東松山交通安全協会参画</li> <li>交通安全協会川島支部への補助</li> <li>自転車ヘルメット購入への補助</li> <li>八幡団地自治会防犯灯電気代の補助</li> </ul>

年度 (単位:千円)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (当初予算額)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費	10,458	10,534	11,439	11,439	11,439
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源	10,458	10,534	11,439	11,439	11,439

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
交通事故発生件数(人身事故)	目標	-	68件	66件	64件	62件	60件	58件
	実績	69件	58件	94件				
評価指標設定理由	評価	-	A	D				
交通安全対策を推進することで、交通事故発生抑止に寄与することが期待される。よって交通事故発生件数を評価指標とした。								

No.	5	戦略目標	まもる	施策名	健康づくりの推進	分類	継続	
実施計画事業名	健康管理システム整備事業		予算書事業名	保健衛生総務費	関連計画	川島町健幸長寿のまちづくり推進計画	計画期間	- ~ - 年度

事業目的	町民の健康診査やがん検診。予防接種等の記録の電子台帳として、住民の健康管理を一元的に行うもの。	評価の考え方及び今後の対応策	各種検診、予防接種、母子保健事業のデータ管理を行っている。基本データと保健事業管理データは、別会社であり、データの更なる活用のためには、データ管理の統一を図る必要がある。
------	---	----------------	---

各年度の事業概要	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	健康管理システムの運用 (システム保守管理、借上、改修)	健康管理システムの運用 (システム保守管理、借上)	健康管理システムの運用 (システム保守管理、借上)	健康管理システムの運用 (システム保守管理、借上)	健康管理システムの運用 (システム保守管理、借上)

年度 (単位：千円)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (当初予算額)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費	3,311	3,414	3,910	3,910	3,910
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源	3,311	3,414	3,910	3,910	3,910

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
町民の健康寿命 (日常生活を制限されることなく健康的な生活を送ることのできる期間の延伸を目指す)	目標	-	男女ともに+0.5歳	男+0.3歳 女+0.6歳	男+0.7歳 女+0.7歳	男+1.0歳 女+0.8歳	男+1.2歳 女+0.9歳	男+1.5歳 女+1.0歳
	実績	男性17.86 女性20.42	男性18.07 女性20.99	集計中				
評価指標設定理由	評価	-	C					
健康寿命については、H30年度(男性17.4歳、女性20.48歳)と令和3年度を比較すると4年で男性0.67歳、女性0.51歳延びている。目標年度まで男女ともに健康寿命の延伸1歳を目指す。								

No.	6	戦略目標	まもる	施策名	福祉のまちづくり	分類	継続	
実施計画事業名	社会福祉総務事業		予算書事業名	社会福祉協議会補助事業	関連計画	第2次川島町地域福祉計画	計画期間	- ~ - 年度

事業目的	地域福祉の総合的な担い手である社会福祉協議会に対し、運営費や事業費を補助することで、社会福祉協議会の安定的な運営と福祉事業の活性化を促進する。	評価の考え方及び今後の対応策	町民ボランティアやボランティア団体を育成し、町や社会福祉協議会以外の地域福祉の担い手として活動していただく。ボランティア数の増加は活動の多様化や活性化につながっていく。また、高齢者のいきがいづくりとしてのボランティア活動も目的とする。
------	---	----------------	---

各年度の事業概要	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	・社会福祉協議会の運営補助 ・地域福祉活動費(戦没者遺族援護・長寿祝い)の補助	・社会福祉協議会の運営補助 ・地域福祉活動費(戦没者遺族援護・長寿祝い)の補助 ・地域ボランティアの人数増や、活躍の場を広げるため、活性化を図る取組を検討する	・社会福祉協議会の運営補助 ・地域福祉活動費(戦没者遺族援護・長寿祝い)の補助 ・地域ボランティアの人数増や、活躍の場を広げるため、活性化を図る取組を検討する	・社会福祉協議会の運営補助 ・地域福祉活動費(戦没者遺族援護・長寿祝い)の補助 ・地域ボランティアの人数増や、活躍の場を広げるため、活性化を図る取組を検討する	・社会福祉協議会の運営補助 ・地域福祉活動費(戦没者遺族援護・長寿祝い)の補助 ・地域ボランティアの人数増や、活躍の場を広げるため、活性化を図る取組を実施する

年度 (単位:千円)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (当初予算額)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費	20,268	15,763	15,763	15,763	15,763
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源	20,268	15,763	15,763	15,763	15,763

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
地域ボランティアの人数	目標	-	30人	35人	40人	45人	50人	55人
	実績	26人	48人	48人				
評価指標設定理由								
地域福祉の担い手を育成し、地域で支え合う取組の活性化を図るため。	評価	-	A	A				



No.	7	戦略目標	まもる	施策名	障がい者福祉の充実	分類	継続	
実施計画事業名	障害者自立支援事業		予算書事業名	障害者生活支援事業	関連計画	川島町障がい者計画・第6期川島町障がい福祉計画・第2期障がい福祉児福祉計画	計画期間	- ~ - 年度

事業目的	聴覚障がい者のための手話通訳の派遣や障がいにより低下した身体機能を補うための日常生活用具の給付、屋外での移動が困難な方への移動支援等により、障がい者が在宅で生活していくうえで、必要な支援を実施していく。	評価の考え方及び今後の対応策	障がい者の地域生活を支えていくための機関である、地域生活支援拠点を開設する。利用者数の増加は、障がい者の地域生活や自立支援につながると考えられる。なお、地域生活支援拠点には相談機能もあり、関連指標として、自立支援につながる障害福祉サービスを利用するための計画づくりの相談人数を設定する。
------	---	----------------	---

各年度の事業概要	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	<ul style="list-style-type: none"> <li>手話通訳者、要約筆記者派遣事業費</li> <li>日常生活用具給付費</li> <li>移動支援事業費</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>手話通訳者、要約筆記者派遣事業費</li> <li>日常生活用具給付費</li> <li>移動支援事業費</li> <li>地域生活支援拠点の開設に向け、地域の体制づくりについて、事業所等関連団体と協議していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>手話通訳者、要約筆記者派遣事業費</li> <li>日常生活用具給付費</li> <li>移動支援事業費</li> <li>障がい者の自立支援につながる地域の体制づくりについて、事業所等関連団体と引き続き協議していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>手話通訳者、要約筆記者派遣事業費</li> <li>日常生活用具給付費</li> <li>移動支援事業費</li> <li>障がい者の自立支援につながる地域の体制づくりについて、事業所等関連団体と引き続き協議していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>手話通訳者、要約筆記者派遣事業費</li> <li>日常生活用具給付費</li> <li>移動支援事業費</li> <li>障がい者の自立支援につながる地域の体制づくりについて、事業所等関連団体と引き続き協議していく。</li> </ul>

年度 (単位:千円)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (当初予算額)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費	9,610	13,661	13,661	13,661	13,661
財源内訳	国庫支出金	4,872	4,309	4,309	4,309
	県支出金	2,436	2,154	2,154	2,154
	地方債				
	その他				
一般財源	2,302	7,198	7,198	7,198	7,198

総合振興計画進行管理 ・事業評価

評価指標	基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
地域生活支援拠点の利用者数 (障害者自立支援給付事業・計画相談支援人数)	-	設置準備 (要綱の作成)	設置準備 (要綱の作成、アドバイザーの活用) (162人)	開設 (164人)	5人 (166人)	10人 (168人)	10人 (170人)
評価指標設定理由	設置準備	設置準備 (近隣市町村へ策定手法について聴取)	設置準備 (設置の方向性を検討)				
地域生活支援拠点は障がい者の地域生活や自立を支えていくための機関であり、令和5年度中の開設を目指している。当機関の利用者が増加することで、障がい者の自立に向けた取組が機能していることが確認できるため。	-	C	D				



No.	8	戦略目標	まもる	施策名	高齢者福祉の充実	分類	継続
実施計画事業名	生活支援体制整備事業	予算書事業名	生活支援体制整備事業費	関連計画	川島町高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画	計画期間	- ~ - 年度

事業目的	誰もが住み慣れた地域社会で暮らし続けることができるよう、高齢者を地域で支える仕組みを構築する。最初は、町民の集いの場としてスタートし、町民同士の支え合い活動として発展させていく。	評価の考え方及び今後の対応策	支え合いの場の開催回数が増えていくことにより、町民同士の交流や活動が活性化していくと考えられる。どのような支え合い活動が可能か等について、情報提供していくとともに、活動の支援を行っていく。
------	---	----------------	--

各年度の事業概要	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	・生活支援体制整備事業の実施生活支援コーディネーター(社会福祉協議会へ委託)を中心に、7つの地域ささえあい協議体(中山、八幡、伊草、三保谷、出丸、八ツ保、小見野)による生活支援体制整備事業の開催	・生活支援体制整備事業の実施生活支援コーディネーター(社会福祉協議会へ委託)を中心に、7つの地域ささえあい協議体(中山、八幡、伊草、三保谷、出丸、八ツ保、小見野)による生活支援体制整備事業の開催	・生活支援体制整備事業の実施生活支援コーディネーター(社会福祉協議会へ委託)を中心に、7つの地域ささえあい協議体(中山、八幡、伊草、三保谷、出丸、八ツ保、小見野)による生活支援体制整備事業の開催	・生活支援体制整備事業の実施生活支援コーディネーター(社会福祉協議会へ委託)を中心に、7つの地域ささえあい協議体(中山、八幡、伊草、三保谷、出丸、八ツ保、小見野)による生活支援体制整備事業の開催	・生活支援体制整備事業の実施生活支援コーディネーター(社会福祉協議会へ委託)を中心に、7つの地域ささえあい協議体(中山、八幡、伊草、三保谷、出丸、八ツ保、小見野)による生活支援体制整備事業の開催

年度 (単位:千円)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (当初予算額)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費	4,009	4,009	4,009	4,009	4,009
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他	3,087	3,087	3,087	3,087
一般財源	922	922	922	922	922

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
支え合いの場の開催回数	目標	-	126回	137回	148回	159回	170回	182回
	実績	115回	14回	50回				
評価指標設定理由	評価	-	D	D				
支え合いの場とは、高齢者を中心とした地域の集いの場であり、町民同士の支え合い活動への発展が期待される。開催が増えることで、様々な取組へつながっていくため。								

No.	9	戦略目標	まもる	施策名	社会保障の充実	分類	継続
実施計画事業名	特定健康診査等事業	予算書事業名	特定健康診査等事業	関連計画	川島町国民健康保険保健事業実施計画 川島町特定健診等実施計画	計画期間	- ~ - 年度

事業目的	特定健診を実施し、疾病の早期発見・治療・予防に努め、町民1人ひとりの健康の保持増進と医療費の適正化を図り、「健康寿命の延伸」を目指す。	評価の考え方及び今後の対応策	平成28年度より胃がん検診と骨密度測定を集団健診時と同日実施、平成29年度からは歯科検診の同日実施、また県の推奨する生活習慣病重症化予防対策共同事業に参加し実施することにより一定の効果が得られた。引き続き更なる受診率向上のため、事業の見直しを行っていく。
------	---	----------------	---

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
各年度の事業概要	特定健診の受診率向上を図るため、健診の周知及び埼玉県市町村ヘルスアップ事業に参加し受診勧奨を実施する。健診受診者に対し町政50周年記念とタイアップした抽選を実施し、特定健診及び長寿健診受診者に対しインセンティブ配布する。	特定健康診査の受診率向上を図るため、健診の周知及び受診勧奨を実施する。特定健診及び長寿健診受診者に対しインセンティブ配布を実施する。国における健診等事業計画（データヘルス計画）の見直し時期となるため、今年度までの総括及び次年度から5か年の計画を策定する。	特定健康診査の受診率向上を図るため、健診の周知及び受診勧奨を実施する。特定健診及び長寿健診受診者に対しインセンティブ配布を実施するが、次年度以降の配布については見直しを行う。特定健診後の特定保健指導への参加者を増やすため、利用勧奨を積極的に実施する。	団塊の世代がすべて後期高齢者医療制度へ移行したため、特定健診受診対象者及び受診者の減少が予想される。新たな特定健診受診者を増やすため、健診の周知及び受診勧奨を実施する。特定健診後の特定保健指導への参加者を増やし、健康を維持する体制づくりを行う。	特定健診の周知及び受診勧奨を実施する。特定健診後の特定保健指導への参加者を増やし、健康を維持する体制づくりを行う。

年度 (単位:千円)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (当初予算額)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
事業費	20,803	30,718	28,583	28,583	28,583	
財源内訳	国庫支出金	3,396	3,802	3,000	3,000	3,000
	県支出金	3,396	8,108	7,000	7,000	7,000
	地方債					
	その他					
一般財源	14,011	18,808	18,583	18,583	18,583	

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
国民健康保険健康診断受診率	目標	-	45%以上	50%以上	53%以上	56%以上	60%以上	60%以上
	実績	42.8%	49.0%	51.2%				
評価指標設定理由								
特定健診の受診率と特定保健指導の受診率も向上させることにより、町民一人ひとりの健康保持増進と医療費の適正化を図り、「健康寿命の延伸」を目指す。	評価	-	A	A				

No.	10	戦略目標	まもる	施策名	ごみ処理適正化の推進	分類	継続
実施計画事業名	新ごみ処理施設整備推進事業	予算書事業名	ごみ処理広域化協議会事業	関連計画	一般廃棄物処理基本計画	計画期間	- ~ - 年度

事業目的	持続可能な社会を実現するために、ごみ処理体制の構築を図るとともに、町の豊かな自然環境と安全で快適な生活環境を守るため、資源循環に対応可能なごみ処理施設整備をすることを目的とする。	評価の考え方及び今後の対応策	令和4年度にごみ処理施設建設候補地を1か所に選定し、予定どおりに進んでいるため評価をAとした。 これまで一般的なスケジュールを示していたが、今後のスケジュールは令和5年度に策定する施設整備基本構想で明らかにし、施設整備に向けて課題の整理を行う。
------	---	----------------	---

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
各年度の事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>建設候補地の選定</li> <li>建設候補地の地元住民に対する視察会の実施</li> <li>桶川市とごみ処理広域化推進のため協議会設立の準備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみ処理基本計画及び施設整備基本構想の策定</li> <li>桶川市とごみ処理広域化推進のため、一部事務組合設立の準備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>循環型社会形成推進地域計画策定</li> <li>一部事務組合設立のための準備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみ処理方式(可燃ごみの処理方法)、事業方式(施設の運営方法)を決定するための施設整備基本計画の策定</li> <li>建設地の調査、測量等</li> <li>生活環境影響調査の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市計画決定(変更)手続き</li> <li>ごみ処理施設整備の事業者選定手続き開始</li> <li>造成設計着手</li> </ul>

年度 (単位:千円)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (当初予算額)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費	3,943	26,736	27,432	241,582	122,782
財源内訳	国庫支出金			50,000	10,000
	県支出金		11,000	11,000	
	地方債				
	その他		10,188	10,638	
一般財源	3,943	5,548	5,794	191,582	112,782

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標	基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
ごみ処理施設整備計画の進捗	目標	-	建設用地選定	建設用地選定	ごみ処理基本計画施設整備基本構想の策定	循環型社会形成推進地域計画の策定 一部事務組合設立準備	ごみ処理事業方式の決定	都市計画(変更)の決定
評価指標設定理由	実績	ごみ処理事業検討開始	3か所に絞り込み	建設候補地を1か所に選定				
新ごみ処理施設を整備する上で必要なプロセスであるため。	評価	-	A	A				

No.	11	戦略目標	まもる	施策名	自然環境と共生するまちづくり	分類	継続	
実施計画事業名	公害対策事業		予算書事業名	公害対策事業	関連計画	川島町地球温暖化対策実行計画 (事務・事業編)	計画期間	- ~ - 年度

事業目的	町内の水質等の状況を調査し、住みよい環境づくりと町の温室効果ガスの削減を図るための事業。また、川島町地球温暖化対策実行計画により、町の事務・事業に関し、省エネルギー・省資源、廃棄物の減量化などの取組を推進し、温室効果ガス排出量の削減を推進する。 町民が地球温暖化対策へ取り組んでもらうよう、省エネ家電の購入を促進させる。 次世代における環境問題解決の担い手を育てるため、地球環境の負荷低減につながる取り組みを公表し、環境にやさしい行動を理解し、実践できる人を育てる。	評価の考え方 及び 今後の対応策	川島町地球温暖化対策実行計画(事務・事業編)にて、平成28年度を基準とし令和5年度までに15%削減を目標としており、令和4年度は13%削減としていたが、達成できなかったため、評価はDとした。 令和5年度に計画の改訂を行い、温室効果ガス(CO2)排出量について、令和12年度までに50%削減に目標を変更する。達成に向けて、各課で所管する施設にLED照明の導入等を進めていく。また継続して、職員へ温室効果ガス(CO2)排出量を削減する行動の周知を図る。 町内の温室効果ガス削減に向けて、省エネ基準の高い家電への買い替えを促進するため補助金の交付を始める。また、町民に対する啓発活動として、国が推奨する「デコ活」や省エネルギーへの取り組みをHPやLINE等でお知らせしていく。 「デコ活」・・・脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動。
------	---	------------------------	--

各年度の 事業概要	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	・比企河川合同水質調査業務の実施 ・ダイオキシン測定業務の実施	地球温暖化対策実行計画推進会議の開催(3回) 地球温暖化対策実行計画(事務・事業編)の改訂 職員向け温室効果ガス削減の啓発活動として、メール送付 環境省が推進する「デコ活」についてHPで周知していく	地球温暖化対策実行計画推進会議の開催(2回) 環境省が推進する「デコ活」について周知していく ・省エネ家電購入補助金	地球温暖化対策実行計画推進会議の開催(2回) 環境省が推進する「デコ活」について周知していく ・省エネ家電購入補助金	地球温暖化対策実行計画推進会議の開催(2回) ・省エネ家電購入補助金 環境省が推進する「デコ活」について周知していく

年度 (単位:千円)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (当初予算額)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費	2,107	1,713	2,220	2,220	2,220
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金	56	56	56	56
	地方債				
	その他				
一般財源	2,051	1,657	2,164	2,164	2,164

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標	基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
公共施設におけるCO2排出量削減率(H28比)	目標	-	11%削減	13%削減	15%削減	17%削減	20%削減
評価指標設定理由	実績	9%削減	3%削減	0.3%削減			
各エネルギー使用量の削減を目指す。削減に向けて町が積極的に取り組むため、公共施設を対象とする。	評価	-	D	D			

No.	12	戦略目標	まもる	施策名	緑あふれる安心空間の整備	分類	継続
実施計画事業名	都市公園等の維持管理の充実	予算書事業名	都市公園等管理事業	関連計画		計画期間	- ~ - 年度

事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的な点検調査を実施し、計画的に補修・更新を行うことで、利用者の安全性の確保及びライフサイクルコストの縮減を図りながら、将来にわたって適正に維持管理していく。施設防犯を重視し、安心して清潔な利用しやすい整備を実施し、利用促進を図る。</li> <li>鳥羽井沼周辺の都市公園化事業に向けての整備を推進及び平成の森公園周辺の観光ゾーン化に向けて民間活力を活用しワークショップ等を開催し、基本構想・計画をまとめる。</li> <li>平成の森公園を拠点として、大人から子どもまで楽しめるイベントを提供することで、「人を呼び込む観光・交流の活性化」を目指す。</li> </ul>	<p>評価の考え方及び今後の対応策</p>	<p>既存公園の点検、修繕などの適正な維持管理により、公園・緑地の設置や整備に対する満足度は、目標を上回っている。</p> <p>また、民間主体となるイベント開催を促すことで、民間事業者の自主的なイベント開催やキッチンカー等の出店増加に繋げていき、平成の森公園を町のにぎわい創出の拠点としていきたい。</p>
------	---	-----------------------	--

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
各年度の事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>各公園の管理</li> <li>春まつりイベント事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各公園の管理</li> <li>春まつりイベント事業</li> <li>3町バラ連携事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各公園の管理</li> <li>鳥羽井沼公園化に向けた検討</li> <li>春まつりイベント事業</li> <li>3町バラ連携事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各公園の管理</li> <li>鳥羽井沼公園化基本構想策定</li> <li>春まつりイベント事業</li> <li>3町バラ連携事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各公園の管理</li> <li>鳥羽井沼公園化に向けた計画策定</li> <li>春まつりイベント事業</li> <li>3町バラ連携事業</li> </ul>

年度 (単位:千円)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (当初予算額)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費	69,646	76,038	76,978	78,711	76,712
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源	69,646	76,038	76,978	78,711	76,712

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
公園・緑地整備に対する満足度	目標	-	25.3%	25.3%	25.3%	25.3%	28.0%	28.0%
	実績	25.3%	27.5%	26.0%				
評価指標設定理由	評価	-	A	A				
<p>インター南側地区区画整理事業による公園・緑地の整備、鳥羽井沼周辺公園化、平成の森公園リニューアル、高台避難所の公園化などにより満足度を向上させる。</p>								

No.	13	戦略目標	まもる	施策名	安心して暮らすための河川の整備	分類	拡充・一部新規
実施計画事業名	排水路整備事業		予算書事業名	河川改良事業	関連計画	計画期間	- ~ - 年度

事業目的	河川・排水路を整備することで、冠水被害の防止を図る。 河川・排水路の整備については、下流から整備を行うことにより流れを確保し、住民の生命・財産を守る。	評価の考え方 及び 今後の対応策	令和元年度東日本台風による被災を受け、内水氾濫箇所の水路整備を行うことにより用排水路整備に対する満足度は上がったが、年度目標には達していないため、効果的な整備を計画的に進めていく。
------	--	------------------------	--

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
各年度の事業概要	・水路整備工事	・水路整備工事 ・水路現況測量業務委託	・水路整備工事	・水路整備工事	・水路整備工事

年度 (単位:千円)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (当初予算額)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費	27,199	45,500	31,250	33,750	30,750
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源	27,199	45,500	31,250	33,750	30,750

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
用排水路整備に対する満足度(%)	目標	-	15.8%	18.1%	20.4%	22.7%	25.0%	26.0%
	実績	13.6%	16.4%	14.6%				
評価指標設定理由								
冠水被害の減少について、排水路整備に対する満足度により測定する。	評価	-	A	B				



No.	14-1	戦略目標	まもる	施策名	住みよいまちづくり	分類	継続	
実施計画事業名	都市計画総務事業		予算書事業名	都市計画総務事業	関連計画	建築物耐震改修促進計画	計画期間	- ~ - 年度

事業目的	昭和56年5月31日以前の建築物を対象に、大地震発生の際の耐震性を増大するため、耐震診断・耐震改修の実施を促進し、災害に強いまちづくりの推進を図る。 また、空き家等の適正管理や流通を促進し、だれもが住み続けたいような住環境を創出する。	評価の考え方 及び 今後の対応策	住宅リフォーム等の制度利用者が増加したことにより、評価指標に対する制度利用件数を達成することができた。 しかし、耐震診断・耐震改修補助制度の利用実績は0件であり、今後、広報やHPにおいて、積極的に耐震対策の重要性、補助制度の周知、利用促進を図り災害に強いまちづくりの推進を図っていく。
------	--	------------------------	---

各年度の事業概要	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	・建築物耐震改修促進計画改訂 ・空き家不動産価値調査 ・空き家対策協議会立ち上げ準備 ・耐震診断、改修等の補助	・耐震診断、改修等の補助 ・補助制度の周知	・耐震診断、改修等の補助 ・補助制度の周知、利用促進の検討・改善	・耐震診断、改修等の補助 ・補助制度の利用促進に向けた取り組み	・耐震診断、改修等の補助 ・補助制度の利用促進に向けた取り組み

年度 (単位:千円)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (当初予算額)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費	3,300	200	200	300	300
財源内訳	国庫支出金	1,100	100	100	150
	県支出金				
	地方債				
	その他 一般財源	2,200	100	100	150

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標	基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
住宅リフォーム・耐震等制度利用件数	目標	-	74件 (うち耐震0件) (うち福祉50件) (うち農政24件)	100件 (うち耐震0件) (うち福祉60件) (うち農政40件)	101件 (うち耐震1件) (うち福祉60件) (うち農政40件)	111件 (うち耐震1件) (うち福祉70件) (うち農政40件)	121件 (うち耐震1件) (うち福祉80件) (うち農政40件)	126件 (うち耐震1件) (うち福祉85件) (うち農政40件)
	実績	74件	105件 (うち耐震0件) (うち福祉75件) (うち農政30件)	160件 (うち耐震0件) (うち福祉62件) (うち農政98件)				
評価指標設定理由								
耐震関連補助制度の拡充により、災害に強いまちづくりの推進を図る。			A	A				

総括表No.	14-2	戦略目標	まもる	施策名	住みよいまちづくり	分類	新規	
実施計画事業名	空き家対策推進事業		予算書事業名	空き家対策推進事業	関連計画	川島町空家等対策計画	計画期間	R5 ~ - 年度

事業目的	町内の空き家への入居を促進し、人口流入や定住促進による地域活性化を図る。	評価の考え方及び今後の対応策	所有者の活用意向等を調査し、効果的で持続可能な利活用施策を立案する必要がある。R5に宅建業協会など関係機関と連携しながら施策を確立し、所有者への啓発を強化しながら、R6以降の利活用につなげていく。
------	--------------------------------------	----------------	--

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
各年度の事業概要		空き家適正管理・連絡体制構築 空き家バンク 空き家対策協議会設置 空き家共同研究による施策立案	空き家適正管理 空き家対策協議会運営 空き家バンク 空き家活用のための補助実施	空き家適正管理 空き家対策協議会運営 空き家バンク 空き家活用のための補助実施	空き家適正管理 空き家対策協議会運営 空き家バンク 空き家活用のための補助実施

年度 (単位：千円)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (当初予算額)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費	0	803	24,900	22,900	22,900
財源内訳	国庫支出金		3,600	2,600	2,600
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源	0	803	21,300	20,300	20,300

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
空き家活用件数(累計) [R5~]	目標	-	-	-	5	10	15	20
	実績	-	-	-				
評価指標設定理由								
関係機関との連携や所有者への啓発等により空き家の利活用に資する事業を推進し、利活用につながった物件数を評価指標とする。	評価	-	-	-				



No.	15	戦略目標	まもる	施策名	上下水道の整備・維持管理及び生活排水対策	分類	継続	
実施計画事業名	雨水幹線整備事業		予算書事業名	管渠建設改良費(雨水)	関連計画	川島町公共下水道事業計画	計画期間	- ~ - 年度

事業目的	市街化区域の浸水対策として、主要な雨水幹線の整備を計画的に推進する。	評価の考え方及び今後の対応策	飯島3号雨水幹線については、平成30年度より工事を着工し、令和5年度までに計画区間の工事を行う。 飯島1号雨水幹線については、令和6年度に設計業務を実施し、令和7年度及び令和8年度で工事を行う予定。
------	------------------------------------	----------------	--

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
各年度の事業概要	○飯島3号雨水幹線 飯島3号雨水幹線工事 (22-1工区) 環境事前調査業務委託 環境事後調査業務委託	○飯島3号雨水幹線 飯島3号雨水幹線工事 (23-1工区) 環境事前調査業務委託 環境事後調査業務委託	○飯島3号雨水幹線 環境事後調査業務委託 ○飯島1号雨水幹線工事設計 業務委託	○飯島1号雨水幹線 飯島1号雨水幹線工事 環境事前調査業務委託	○飯島1号雨水幹線 飯島1号雨水幹線工事 環境事後調査業務委託

年度 (単位:千円)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (当初予算額)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費	489,618	153,460	11,600	340,000	342,000
財源内訳	国庫支出金	150,000	21,000	168,750	168,750
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源	339,618	132,460	11,600	171,250	173,250

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
飯島雨水幹線整備進捗率(%)	目標	-	69.0%	69.5%	70.5%	70.8%	71%	71%
	実績	68.5%	69.8%	71.3%				
評価指標設定理由								
市街化区域の浸水対策として計画的に整備する。	評価	-	A	A				

No.	16	戦略目標	まもる	施策名	安全に通行できる道路の整備	分類	継続
実施計画事業名	主要幹線道路整備事業		予算書事業名	道路新設改良事業	関連計画	計画期間	H29 ~ - 年度

事業目的	主要幹線道路の車道及び歩道の整備を行なうことで、安全の確保と生活環境の改善を図る。 歩道を整備することにより、通学路の安全確保及び周辺住民の安全や住環境を改善する。	評価の考え方及び今後の対応策	道路整備について、令和5年度までは先行して水路及び拡幅部の整備を行っている。また、道路用地については関係地権者と交渉を行っているところである。今後は、地元及び関係機関との調整を密に行い、歩道整備を進めて行く。
------	---	----------------	--

各年度の事業概要	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	・町道1-2号線外道路改良工事 物件補償費 水路整備工事	・町道1-2号線外道路改良工事 土地購入費 物件補償費 水路整備工事	・町道1-2号線外道路改良工事 土地購入費 物件補償費 道路改良工事	・町道1-2号線外道路改良工事 土地購入費 物件補償費 道路改良工事	・町道1-2号線外道路改良工事 土地購入費 物件補償費 道路改良工事

年度 (単位:千円)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (当初予算額)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費	35,014	34,560	35,000	35,000	35,000
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源	35,014	34,560	35,000	35,000	35,000

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
幹線町道の歩道整備率(%) (町道1-2号線外道路改良工事の歩道整備率)	目標	-	32.9% (0%)	32.9% (0%)	32.9% (0%)	32.9% (0%)	33.4% (45%)	33.4% (47%)
	実績	32.9% (0%)	32.9% (0%)	32.9% (0%)				
評価指標設定理由								
安全な歩行者の通行について、幹線町道の歩道整備率により測定する。	評価	-	A	A				

No.	17	戦略目標	まもる	施策名	持続可能な公共交通網の形成	分類	継続
実施計画事業名	地域公共交通対策事業	予算書事業名	地域公共交通対策事業	関連計画	川島町地域公共交通計画	計画期間	- ~ - 年度

事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>町の公共交通施策について協議する地域公共交通会議の運営、日常生活で自家用車による移動が困難な方への支援策「かわみんタクシー」の運行、及び令和4年度に策定した地域公共交通計画の進行管理等を行う。</li> <li>東武バスを維持するため、利用促進施策や東武バスウエストと協議を行う。</li> <li>路線バスや企業送迎バス、スクールバス等の有効活用方法について検討する。</li> </ul>	<p>評価の考え方及び今後の対応策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>持続可能な公共交通を実現するため、令和4年度に策定した川島町地域公共交通計画に基づき、公共交通施策を展開していく必要がある。</li> <li>かわみんタクシーは好評だが、費用負担の増大が課題であるため、乗り合わせを推進していくことにより、町の財政負担の軽減を図っていく。</li> <li>今後、町民の公共交通の利便性の向上を図るため、移動手段の充実を官民連携しながら図っていく。</li> </ul>
------	---	-----------------------	---

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
各年度の事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>かわみんタクシーの運行補助</li> <li>地域公共交通会議の運営</li> <li>公共交通計画の策定</li> <li>その他工事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>かわみんタクシーの運行補助</li> <li>地域公共交通会議の運営</li> <li>タクシーマグネット委託</li> <li>バスティバル委託</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>かわみんタクシーの運行補助</li> <li>地域公共交通会議の運営</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>かわみんタクシー運行の補助</li> <li>地域公共交通会議の運営</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>かわみんタクシー運行の補助</li> <li>地域公共交通会議の運営</li> </ul>

年度 (単位:千円)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (当初予算額)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費	16,928	16,267	16,007	16,007	16,007
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	16,928	16,267	16,007	16,007

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
公共交通に対する満足度	目標	-	8.5%	9.6%	9.9%	10.2%	10.7%	11.0%
	実績	7.4%	6.4%	7.0%				
評価指標設定理由	評価	-	D	D				
公共交通の満足度をあげることで、町民の公共交通に対する利便性や移動手段の充実が図られることから指標設定した。								

No.	18	戦略目標	まもる	施策名	農地保全と有効利用	分類	継続
実施計画事業名	農地中間管理事業		予算書事業名	農地集積事業	関連計画	計画期間	H26 ~ - 年度

事業目的	遊休農地増加を防止するとともに、将来にわたって優良農地を引き継いでいくため、農地中間管理事業を活用し、担い手農家への農地の集積を進める。また、地域計画の策定にあたり、農業委員・農地最適化推進委員等と連携し、農地の集積・集約化を計画的に行う。	評価の考え方及び今後の対応策	現在の担い手から次の世代へ引き継いでいくための方策を検討しなければならない。また、農業用機械の大型化に伴い、農道整備などの要望があるが、多額の費用がかかるため進んでいない。効率化を図るためにも、基盤整備は重要な課題となっている。
------	--	----------------	--

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
各年度の事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>耕作条件改善事業への参画</li> <li>農地整備工事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>耕作条件改善事業への参画</li> <li>農地整備工事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>耕作条件改善事業への参画</li> <li>農地整備工事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>耕作条件改善事業への参画</li> <li>農地整備工事</li> <li>公社農道整備事業への参画</li> <li>埼玉型ほ場整備の実施(約42ha)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>耕作条件改善事業への参画</li> <li>農地整備工事</li> <li>公社農道整備事業への参画</li> <li>埼玉型ほ場整備の実施(約42ha)</li> </ul>

年度 (単位:千円)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (当初予算額)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費	9,673	11,196	10,391	24,246	24,246
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他	3,726	4,649	3,844	4,649
一般財源	5,947	6,547	6,547	19,597	19,597

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
農地集積面積	目標	-	750ha	770ha	780ha	790ha	800ha	810ha
	実績	692ha	765ha	804ha				
評価指標設定理由								
農地中間管理事業を活用した農地の集積面積を指標とする。	評価	-	A	A				

No.	19	戦略目標	まもる	施策名	公共施設の適正な管理	分類	継続	
実施計画事業名	公共施設等総合管理事業		予算書事業名	公共施設等総合管理事業	関連計画	公共施設個別施設計画	計画期間	- ~ - 年度

事業目的	人口減少や財政状況を踏まえ、個々の公共施設の状況を把握し、長期的な視点による更新・統廃合、長寿命化等を計画的に推進し、公共施設の適正な運用を図る。	評価の考え方及び今後の対応策	令和4年度においては、施設解体は進んだものの、町所有施設が増加したため、Cとした。今後においても、実施計画を用いて、PDCAを確立。各施設の長寿命化、統廃合、集合化、集約化を計画的に取り組んでいく。膨大な更新費用がかかることが予想されるため、財源の確保(基金の積立等)においても計画的に実行していく。
------	---	----------------	--

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
各年度の事業概要	・公共施設個別施設計画のPDCA	・公共施設個別施設計画のPDCA	・公共施設個別施設計画のPDCA	・公共施設個別施設計画のPDCA ・必要に応じて個別施設計画の見直し	・公共施設個別施設計画のPDCA

年度 (単位:千円)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (当初予算額)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費	0	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源	0	0	0	0	0

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
延床面積総量削減率(H28比)	目標	-	予算調整	解体実施	解体実施	集約調整	3.0%	5.4%
	実績	1.7%	1.7%	1.8%				
評価指標設定理由								
個別施設計画における目標	評価	-	C	C				

No.	20	戦略目標	まもる	施策名	適正な行財政運営の推進	分類	継続	
実施計画事業名	計画行政推進事業		予算書事業名	計画行政推進事業	関連計画	川島町総合振興計画	計画期間	- ~ - 年度

事業目的	社会情勢の急激な変化に対応し、持続可能なまちづくりを推進するため、財源の確保や費用対効果を踏まえた効率的な行財政運営に取り組む。	評価の考え方及び今後の対応策	経常収支比率について、適正な状態を維持できたため、評価はAである。今後も施策を効果的・効率的に実施する必要がある、外部組織である「川島町総合振興計画審議会」による事業評価や検証を行い、PDCAサイクルの適切な運用により町政運営の推進を図る。
------	--	----------------	--

各年度の事業概要	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合振興計画審議会の開催</li> <li>埼玉縣信用金庫との連携</li> <li>明治大学ゼミとの共同研究</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合振興計画審議会の開催</li> <li>明治大学ゼミとの共同研究</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合振興計画審議会の開催</li> <li>明治大学ゼミとの共同研究</li> <li>新たな評価指標の研究</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合振興計画審議会の開催</li> <li>明治大学ゼミとの共同研究</li> <li>後期基本計画作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合振興計画審議会の開催</li> <li>明治大学ゼミとの共同研究</li> <li>後期基本計画進行管理</li> </ul>

年度 (単位:千円)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (当初予算額)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費	1,465	475	735	4,145	735
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源	1,465	475	735	4,145	735

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
経常収支比率	目標	-	85.0%	85.0%	85.0%	85.0%	85.0%	85.0%
	実績	85.6%	80.4%	86.8%				
評価指標設定理由								
財源の確保を始めとしたまちづくりの持続性を保ち、費用対効果を踏まえた効率的な行財政運営の検証に適した指標であるため。	評価	-	A	A				

## 戦略目標2 つなぐ「未来に向けて人と人をつなぐ」施策別 代表事業実施計画

No.	施策名	代表事業名	概算事業費（千円）		
			R6	R7	R8
重要1	つどいの場の創出	地域学校協働活動推進事業	2,087	2,087	2,087
重要2	新しい自治体コミュニケーションの推進	住民力結集事業	649	709	760
1	多文化共生社会の推進	外国人支援事業	611	611	611
2	ふれあいの場の充実	社会福祉総務事業	398	398	398
3	いきがいの創出	コミュニティ推進事業（再掲）	23,657	23,657	23,657
4	青少年の地域参加の推進	子育て支援総合センター管理運営事業	26,446	26,666	26,887
5	新しいつながりの創出	ふるさと納税推進事業	35,000	50,000	50,000
6	文化財の保護・活用及び伝統文化の継承	かわじま郷土資料館（仮称）開設準備事業	3,502	320	320
7	デジタル化の推進	戸籍住民登録管理事業	12,600	12,680	12,760
8	広域連携の推進	広域行政推進事業	3,124	3,124	3,124
年度ごと概算事業計			108,074	120,252	120,604

## 戦略目標2 評価指標

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
まちづくりの町民参加の促進に関する満足度	目標	-	11.0%	12.0%	13.0%	14.0%	15.0%	16.0%
	実績	10.7%	9.8%	9.4%				
評価指標設定理由								
戦略目標2で掲げる取組の成果を測定するため、「まちづくりの町民参加の促進に関する満足度」を設定し、町民の皆さまが協働のまちづくりに一定の満足感を持っているかを確認する。	評価	-	D	D				

No.	重要1	戦略目標	つなぐ	施策名	つどいの場の創出	分類	継続
実施計画事業名	地域学校協働活動推進事業	予算書事業名	地域学校協働活動推進事業	関連計画	川島町教育大綱、川島町教育行政重点施策、川島町生涯学習推進総合計画	計画期間	- ~ - 年度

事業目的	地域と学校がお互いに協力して、子どもを中心に大人もまなび・活動できる「みんなの居場所(ひろば活動)」をつくることで、地域全体で子どもを育てるとともに、地域をげんきにするための国庫補助事業を実施する。	評価の考え方及び今後の対応策	地域学校協働活動(ひろば活動)の魅力が高まれば利用者の増加につながると思われ、評価指標を設定した。対応策としては、地域学校協働活動で多様な魅力的な講座やイベントを開催することで、指標の目的を達成する。
------	---	----------------	--

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
各年度の事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コーディネーターによる活動の支援</li> <li>・地域の団体や人材の発掘</li> <li>・講座や活動の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コーディネーターによる活動の支援</li> <li>・地域の団体や人材の発掘</li> <li>・講座や活動の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コーディネーターによる活動の支援</li> <li>・地域の団体や人材の発掘</li> <li>・講座や活動の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コーディネーターによる活動の支援</li> <li>・地域の団体や人材の発掘</li> <li>・講座や活動の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コーディネーターによる活動の支援</li> <li>・地域の団体や人材の発掘</li> <li>・講座や活動の実施</li> </ul>

年度 (単位:千円)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (当初予算額)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費	1,904	2,087	2,087	2,087	2,087
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金	1,046	1,258	1,258	1,258
	地方債				
	その他				
一般財源	858	829	829	829	829

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
地域学校協働活動参加者数	目標	-	3,900人	4,100人	4,300人	4,500人	4,752人	4,838人
	実績	1,404人	2,740人	4,554人				
評価指標設定理由	評価	-	C	A				
地域学校協働活動(ひろば活動)の魅力が高まれば利用者の増加につながると思われ、評価指標を設定した。この目標値は、2地区で、年間48回ひろばを実施した場合の評価値である。								



No.	重要2	戦略目標	つなぐ	施策名	新しい自治体コミュニケーションの推進	分類	継続
実施計画事業名	住民力結集事業		予算書事業名	住民力結集事業		関連計画	計画期間 H28 ~ - 年度

事業目的	かわじま☆未来塾を運営し、塾生と町職員が協働で調査研究と政策立案・企画を行うことにより、町全体の政策形成力を高め、未来に希望ある魅力的なまちづくりを目指す。また、政策形成過程を通じて、地域を支えるリーダーを養成する。 公募委員候補者名簿登載者の募集を随時実施し、住民と協働のまちづくりを推進する。	評価の考え方及び今後の対応策	かわじま☆未来塾については、塾生数を増やすことができているが、活動数は減となっている。今後については、活動内容を検討し、より活発的に活動していける体制となるようにしていく。 公募委員候補者については名簿登載者の循環を図るため、3年の自動更新を撤廃した。公募委員としての実際の活動内容や取扱等の整理が必要となっている。
------	---	----------------	---

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
各年度の事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>塾生の活動支援</li> <li>公募委員候補者の募集</li> <li>まちづくり活動団体への補助</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>塾生の活動支援</li> <li>公募委員候補者の募集</li> <li>まちづくり活動団体への補助</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>塾生の活動支援</li> <li>公募委員候補者の募集</li> <li>まちづくり活動団体への補助</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>塾生の活動支援</li> <li>公募委員候補者の募集</li> <li>まちづくり活動団体への補助</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>塾生の活動支援</li> <li>公募委員候補者の募集</li> <li>まちづくり活動団体への補助</li> </ul>

年度 (単位:千円)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (当初予算額)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費	531	521	649	709	760
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	531	521	649	709

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標	基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
①かわじま☆未来塾によるまちづくり活動数	目標	-	①50回	①60回	①70回 ②1回	①80回 ②2回	①100回 ②3回
②かわじま☆未来塾による事業提案数	実績	40回	55回	43回			
評価指標設定理由							
まちづくり活動の回数及び事業提案数を計測することで、町と課題共有を図り、「町とのコミュニケーションの充実」につなげることができるため評価指標とした。	評価	-	A	C			

No.	1	戦略目標	つなぐ	施策名	多文化共生社会の推進	分類	継続	
実施計画事業名	外国人支援事業		予算書事業名	生涯学習推進事業	関連計画	川島町教育大綱、川島町教育行政重点施策、川島町生涯学習推進総合計画	計画期間	- ~ - 年度

事業目的	町内在住外国人に対する国際交流事業の実施や日本語学習等の支援を行う。	評価の考え方及び今後の対応策	特定非営利活動法人与委託契約を結び、支援事業を実施している。支援内容としては、町内在住外国人に対する日本語学習支援が中心となっている。その取組に加えて、地域住民との交流事業の実施回数を増やし、多様な文化を受け入れ、共生する機運を醸成する事業の実施を行う。
------	------------------------------------	----------------	---

各年度の事業概要	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定非営利活動法人の活動支援</li> <li>外国人の日本語教室の開催</li> <li>コーディネーター事業の実施</li> <li>日本語学習支援事業</li> <li>外国人を支援する方法を学ぶ講座の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定非営利活動法人の活動支援</li> <li>外国人の日本語教室の開催</li> <li>イベント等事業の実施</li> <li>コーディネーター事業の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定非営利活動法人の活動支援</li> <li>外国人の日本語教室の開催</li> <li>イベント等事業の実施</li> <li>コーディネーター事業の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定非営利活動法人の活動支援</li> <li>外国人の日本語教室の開催</li> <li>イベント等事業の実施</li> <li>コーディネーター事業の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定非営利活動法人の活動支援</li> <li>外国人の日本語教室の開催</li> <li>イベント等事業の実施</li> <li>コーディネーター事業の実施</li> </ul>

年度 (単位：千円)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (当初予算額)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費	415	611	611	611	611
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源	415	611	611	611	611

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標	基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
町内在住外国人と地域住民との交流事業実施回数	目標	-	1回	1回	2回	3回	4回
	実績	1回	1回	1回			
評価指標設定理由							
多文化共生の機運の醸成度を交流事業の実施回数により測定する。	評価	-	A	A			

No.	2	戦略目標	つなぐ	施策名	ふれあいの場の充実	分類	継続	
実施計画事業名	社会福祉総務事業		予算書事業名	社会福祉協議会補助事業	関連計画	第2次川島町地域福祉計画	計画期間	- ~ - 年度

事業目的	地域住民の自主的な活動により、子どもから高齢者までの多世代が集う居場所(サロン)の設置及び活動支援を行う。	評価の考え方及び今後の対応策	気軽に集まれる小さな拠点が増えていくことにより、町民同士のふれあいによる地域コミュニティの活性化や世代間交流が促進される。
------	---	----------------	---

各年度の事業概要	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	・通いの場・小さな拠点(いきいき体操・19箇所)(地域ささえあい協議体・13箇所)	・通いの場・小さな拠点の充実を社協と実施(いきいき体操・22箇所・R5.9.6時点)(地域ささえあい協議体・13箇所)	・通いの場・小さな拠点の充実を社協と実施(いきいき体操)(地域ささえあい協議体)	・通いの場・小さな拠点の充実を社協と実施(いきいき体操)(地域ささえあい協議体)	・通いの場・小さな拠点の充実を社協と実施(いきいき体操)(地域ささえあい協議体)

年度 (単位:千円)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (当初予算額)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費	398	398	398	398	398
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源	398	398	398	398	398

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
通いの場・小さな拠点の箇所数	目標	-	34箇所	37箇所	40箇所	43箇所	47箇所	49箇所
	実績	31箇所	32箇所	35箇所				
評価指標設定理由								
各地区に地域のすべての方が気軽に集まれる小さな拠点が増えていくことにより、町民同士のふれあいによる地域コミュニティの活性化や世代間交流が促進されるため。		評価	-	D	D			

総括表No.	3	戦略目標	つなぐ	施策名	いきがいの創出	分類	継続
実施計画事業名	コミュニティ推進事業(再掲)	予算書事業名	自治振興事業	関連計画		計画期間	- ~ - 年度

事業目的	各自治会の活動推進及び充実を図ると共に、自治会、区長、区長会等との連絡・調整・支援を実施する。	評価の考え方及び今後の対応策	自治・コミュニティの推進について、自治会は、その目的にあった事業を推進し、地域住民の参加のもと、町はその活動を支援することが重要である。支援については、区長会等の協力を得て、自治会の課題やニーズを把握したなかで、補助事業の見直しや効果的な方法への改善、助言などを行う。自治会等の活動の充実化を図り、誰もが参加しやすくなるような環境整備を推進する。自治会活動の中心となる集会所の修繕等の必要性を把握するため、各自治会に対してアンケート調査を行い、結果を基に補助金のメニューや補助率を適宜検討する。統合、再編について、行政区の人口が少ない地区や、自治会間で交流のある地区を優先に検討する。自治会のあり方を調査するため、令和4年度に区長に対してアンケートを実施した。令和4年度に実施したアンケート結果を踏まえて、今後の行政区の規模や区長の負担軽減の方法を検討する。
------	---	----------------	---

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
各年度の事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>各自治会に対する補助(自治会運営費助成金、地縁団体事務費助成金等)</li> <li>コミュニティ推進協議会に対する補助(地区コミュニティ活動事業補助金)</li> <li>コミュニティ助成事業((一財)自治総合センター)を活用した集会所整備事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各自治会に対する補助(自治会運営費助成金、地縁団体事務費助成金等)</li> <li>コミュニティ推進協議会に対する補助(地区コミュニティ活動事業補助金)</li> <li>コミュニティ助成事業((一財)自治総合センター)を活用した集会所整備事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各自治会に対する補助(自治会運営費助成金、地縁団体事務費助成金等)</li> <li>コミュニティ推進協議会に対する補助(地区コミュニティ活動事業補助金)</li> <li>コミュニティ助成事業((一財)自治総合センター)を活用した集会所整備事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各自治会に対する補助(自治会運営費助成金、地縁団体事務費助成金等)</li> <li>コミュニティ推進協議会に対する補助(地区コミュニティ活動事業補助金)</li> <li>コミュニティ助成事業((一財)自治総合センター)を活用した集会所整備事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各自治会に対する補助(自治会運営費助成金、地縁団体事務費助成金等)</li> <li>コミュニティ推進協議会に対する補助(地区コミュニティ活動事業補助金)</li> <li>コミュニティ助成事業((一財)自治総合センター)を活用した集会所整備事業</li> </ul>

年度 (単位:千円)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (当初予算額)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費	22,543	23,657	23,657	23,657	23,657
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他	1,200	2,100	2,100	2,100
一般財源	21,343	21,557	21,557	21,557	21,557

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標	基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
地域におけるコミュニティ活動への満足度	目標	-	12.0%	13.0%	14.0%	15.0%	16.0%	17.0%
	実績	11.1%	12.7%	10.1%				
評価指標設定理由								
自治会が中心となって実施する地域のコミュニティ活動への満足度を向上することにより、町民の日常生活を送る上でのいきがいを測定する。		A	B					

No.	4	戦略目標	つなぐ	施策名	青少年の地域参加の推進	分類	継続
実施計画事業名	子育て支援総合センター管理運営事業	予算書事業名	子育て支援総合センター管理運営事業	関連計画	川島町子ども・子育て支援事業計画	計画期間	H29 ~ - 年度

事業目的	安心して出産・子育てができるよう、子育て親子が気軽に集い交流できる施設（子育て支援総合センター「かわみんハウス」）として運営する。 青少年健全育成に寄与するよう、中高生・青少年向け事業の展開を行う。 令和6年度に令和7年度からの指定管理者の選定を行う。今後の施設及びサービスを検討する。	評価の考え方及び今後の対応策	<p>中高生自らが企画した事業の実施を目指す。</p> <p>①かわみんハウスに中高生を集める。とっかかり・かかわりを持ってもらう。 中高生向け事業。移動児童館、学校に向く事業。青少年相談員事業。</p> <p>②かわみんハウス事業に青少年相談員等の協力。 相談員事業。支援センター事業に相談員が参画する事業。</p> <p>③中高生自らの企画した事業の展開を実施。 相談員・支援センター職員・町職員がサポートし、事業を企画運営する。 異年齢・地域住民との交流事業。 実行委員会を立ち上げ、どのようなプログラムにするか、中高生が参加しやすいか等企画を練り上げ、事業を行うように、支援を行う。</p>
------	---	----------------	---

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
各年度の事業概要	・川島町子育て支援総合センター管理運営（施設管理・事業企画及び運営）	・川島町子育て支援総合センター管理運営（施設管理・事業企画及び運営） ・遊具修繕工事 中高生参加事業： R5年8月かわみんまつり参加ボランティア 中学生1名・高校生0名	・川島町子育て支援総合センター管理運営（施設管理・事業企画及び運営） 令和7年度からの指定管理者選定を行う。 ・工事請負費 電気自動車充電機設置に伴う北側駐車場アスファルト舗装等工事	・川島町子育て支援総合センター管理運営（施設管理・事業企画及び運営）	・川島町子育て支援総合センター管理運営（施設管理・事業企画及び運営）

年度 (単位:千円)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (当初予算額)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
事業費	28,235	33,074	26,446	26,666	26,887	
財源内訳	国庫支出金	3,412	2,991	3,083	3,083	3,083
	県支出金	2,991	2,991	3,083	3,083	3,083
	地方債					
	その他	122	141	141	141	141
	一般財源	21,710	26,951	20,139	20,359	20,580

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標	基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
子育て支援センターにおける中高生参加事業数	目標	-	事業の検討を行う	事業の検討を行う	1件	1件	2件	2件
	実績	2件	事業の検討を行う	事業の検討を行う				
評価指標設定理由								
中高生自らが企画した事業の実施を目指し、青少年健全育成に寄与するため、参加事業数を増やし、事業内容の充実を図るため。	評価	-	A	A				

No.	5	戦略目標	つなぐ	施策名	新しいつながりの創出	分類	拡充・一部新規
実施計画事業名	ふるさと納税推進事業		予算書事業名	ふるさと納税推進事業	関連計画	計画期間	H20 ~ - 年度

事業目的	本町にふるさと納税寄附金を行った町外に居住する方に対して、特産品等を贈呈することにより、ふるさと納税寄附金の推進を図り、町財政に資するとともに、町の特産品、地元企業等をはじめ、町全体のPRに寄与することを目的としている。	評価の考え方及び今後の対応策	・地域商社と連携し、新たに注目を集めるお礼の品を追加し、寄附の増加につなげたいが、目立ったものが見出せないでいる。 ・寄附の用途について、明確な事業を示す必要がある。
------	--	----------------	--

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
各年度の事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふるさと納税寄附金の受入及びお礼の品の送付等ふるさと納税に関する業務</li> <li>地域商社との連携に係る調整</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふるさと納税寄附金の受入及びお礼の品の送付等ふるさと納税に関する業務</li> <li>地域商社との連携による事業の実施（返礼品点数増に向けた事業者募集強化）</li> <li>ふるさと納税業務支援業者と協力し、川島町ふるさと納税の起爆剤とする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふるさと納税寄附金の受入及びお礼の品の送付等ふるさと納税に関する業務</li> <li>地域商社との連携による事業の実施（高付加価値/高価格帯の返礼品開発・寄附PR/レポート促進）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふるさと納税寄附金の受入及びお礼の品の送付等ふるさと納税に関する業務</li> <li>地域商社との連携による事業の実施（高付加価値/高価格帯の返礼品開発・寄附PR/レポート促進）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふるさと納税寄附金の受入及びお礼の品の送付等ふるさと納税に関する業務</li> <li>地域商社との連携による事業の実施（高付加価値/高価格帯の返礼品開発・寄附PR/レポート促進）</li> </ul>

年度 (単位:千円)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (当初予算額)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費	16,451	24,999	35,000	50,000	50,000
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源	16,451	24,999	35,000	50,000	50,000

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
ふるさと納税寄附件数	目標	-	3,000件	3,500件	4,000件	4,500件	5,000件	5,500件
	実績	2,616件	2,123件	2,180件				
評価指標設定理由	評価	-	D	C				
新しいつながりの創出を目標とするのであれば、ふるさと納税の寄附金額よりも、つながりを数値化するという点において、寄附件数がよりふさわしいと考えるため。								



No.	6	戦略目標	つなぐ	施策名	文化財の保護・活用及び伝統文化の継承	分類	拡充・一部新規
実施計画事業名	かわじま郷土資料館(仮称)開設準備事業	予算書事業名	かわじま郷土資料館(仮称)開設準備事業	関連計画	川島町教育大綱、川島町教育行政重点施策、川島町生涯学習推進総合計画	計画期間	- ~ - 年度

事業目的	「かわじま郷土資料展示室」を核にして、町の歴史・文化を学ぶことで、郷土を愛し、誇りに思う心を醸成する。	評価の考え方及び今後の対応策	「かわじま郷土資料展示室」の来館者数を評価指標とする。 「かわじま郷土資料展示室」の来館者が増えるように、魅力的な展示、各種講座の実施、企画展の開催、郷土芸能団体との連携、資料の保存を実施することで、魅力的な資料室づくりに努める。
------	---	----------------	--

各年度の事業概要	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	<b>【新規】</b> ・展示ケース改修 ・歴史・文化シンポジウム謝金  <b>【継続】</b> ・かわじま郷土資料館(仮称)設置準備委員会謝金 ・伝統芸能映像記録委託 ・維持管理費	<b>【新規】</b> ・郷土学習講座 ・展示室備品購入 ・展示室消耗品	<b>【新規】</b> ・展示室空調設備 ・展示室照明設備 ・展示室企画展 ・郷土学習講座 ・展示室消耗品	<b>【継続】</b> ・展示室企画展 ・郷土学習講座 ・展示室消耗品	<b>【継続】</b> ・展示室企画展 ・郷土学習講座 ・展示室消耗品

年度 (単位:千円)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (当初予算額)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費	3,091	845	3,502	320	320
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源	3,091	845	3,502	320	320

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標	基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
郷土資料館来館者数	目標	-	開設準備	開館	150人	200人	250人
評価指標設定理由	実績	開設準備	開設準備	開設準備完了			
郷土資料館の設置を目指す。 企画展や講座を開催し、来場者の増加を目指す。	評価	-	B	A			

No.	7	戦略目標	つなぐ	施策名	デジタル化の推進	分類	継続
実施計画事業名	戸籍住民登録管理事業	予算書事業名	戸籍住民登録管理事業	関連計画	DX推進計画	計画期間	H28 ~ - 年度

事業目的	町民諸届出等に基づく住民記録を適正に行い、各種証明の交付や町行政サービスの的確な実施につなげるとともに、マイナンバーカード普及によりデジタル化を推進することで、町民の利便性向上を図る。 【マイナンバーカード交付率: R7目標値 85% (第6次川島町総合振興計画)】 【証明書発行コンビニ交付率: R8目標値 50% (川島町DX推進計画)】	評価の考え方及び今後の対応策	目標としていたマイナンバーカードの交付率60%を達成したため、A評価とした。マイナポイントの影響で、予想以上に交付が進んだ。残り約20%の未取得者の取得のため、自宅等へ訪問するなど、1人ひとりに寄り添って丁寧に対応する。また、マイナンバーカードを活用したサービス(コンビニ交付、かんたん窓口)の利用を推進し、窓口のデジタル化を図る。
------	---	----------------	--

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
各年度の事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>マイナンバーカード個人宅訪問事業</li> <li>マイナサポートの継続実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>マイナンバーカード個人宅訪問事業</li> <li>マイナサポートの継続実施</li> <li>コンビニ交付及びかんたん窓口の利用を促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>マイナンバーカード個人宅訪問事業</li> <li>マイナサポートの継続実施</li> <li>コンビニ交付及びかんたん窓口の利用を促進</li> <li>マイナンバーカードと健康保険証の一体化に合わせ、取得促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>マイナンバーカード個人宅訪問事業</li> <li>マイナサポートの継続実施</li> <li>コンビニ交付及びかんたん窓口の利用を促進</li> <li>マイナンバーカードと健康保険証の一体化に合わせ、取得促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>マイナンバーカード個人宅訪問事業</li> <li>マイナサポートの継続実施</li> <li>コンビニ交付及びかんたん窓口の利用を促進</li> <li>マイナンバーカードと健康保険証の一体化に合わせ、取得促進</li> <li>窓口業務体制の整備促進</li> </ul>

年度 (単位:千円)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (当初予算額)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
事業費	23,921	26,860	12,600	12,680	12,760	
財源内訳	国庫支出金	10,538	13,512	1,064	1,064	1,064
	県支出金	662	383	383	383	383
	地方債					
	その他	6,640	6,392	6,392	6,392	6,392
	一般財源	6,081	6,573	4,761	4,841	5,304

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
マイナンバーカード交付率	目標	-	交付率50%	交付率60%	交付率70%	交付率80%	交付率85%	交付率86%
	実績	21.1%	51.22%	72.58%				
評価指標設定理由								
デジタル化を推進するための基盤となるマイナンバーカードの交付率を上げることで、町民の利便性向上や行政運営の効率化を図る。	評価	-	A	A				



No.	8	戦略目標	つなぐ	施策名	広域連携の推進		分類	継続
実施計画事業名	広域行政推進事業		予算書事業名	広域行政推進事業		関連計画	計画期間	- ~ - 年度

事業目的	各広域連携団体(比企広域市町村圏組合、川越都市圏まちづくり協議会、比企地域元気アップ実行委員会)で協力しながら、広域連携について議論研究等をしていく。	評価の考え方 及び 今後の対応策	会議等により各種事業の検討を行っている。令和5年度は川越都市圏まちづくり協議会において婚活事業を実施する。広域連携の具体的な事業展開について、他市町村と協議会等で議論をしていく中で、連携を強化していく必要がある。
------	---	------------------------	--

各年度の 事業概要	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	・各種協議会等への参画 (負担金)	・各種協議会等への参画 (負担金)	・各種協議会等への参画 (負担金)	・各種協議会等への参画 (負担金)	・各種協議会等への参画 (負担金)

年度 (単位:千円)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (当初予算額)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費	2,895	3,124	3,124	3,124	3,124
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源	2,895	3,124	3,124	3,124	3,124

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
広域連携による事業数	目標	-	16事業	17事業	18事業	19事業	20事業	21事業
	実績	16事業	16事業	13事業				
評価指標設定理由								
広域連携による事業数が増えることにより、多くの事業で連携したことになり、広域連携の可能性につながっていく。		-	A	B				

### 戦略目標3 つくる「未来に輝く稼ぐ地域をつくる」施策別 代表事業実施計画

No.	施策名	代表事業名	概算事業費（千円）		
			R6	R7	R8
重要1	川島インターチェンジ周辺整備の推進	川島インターチェンジ南側地区開発事業	4,466	0	0
重要2	地域資源の総動員による稼ぐ力の向上	地方創生推進事業	25,360	1,560	1,560
1	魅力ある土地利用	都市計画総務事業	677	677	17,677
2	地域特性を活かした農業振興	新規就農総合支援事業	4,521	2,271	2,271
3	活気ある事業活動の推進	商工業振興事業	10,573	10,573	10,573
4	地域資源を活かした観光振興	観光振興事業	2,713	4,413	2,713
5	新たな行政サービスの導入	DX推進事業	8,572	16,200	12,094
6	官民連携の推進	公共施設等総合管理事業	0	0	0
年度ごと概算事業計			56,882	35,694	46,888

### 戦略目標3 評価指標

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
町内総生産額	目標	-	94,000百万円	98,000百万円	102,000百万円	106,000百万円	107,031百万円	109,135百万円
	実績	90,614百万円	集計中	集計中				
評価指標設定理由	評価	-	-	-				
戦略目標3で掲げる取組の成果を測定するため、「町内総生産額」によって町民や事業者の皆さまが生み出した付加価値を測り、町の稼ぐ力を確認する。								

No.	重要1	戦略目標	つくる	施策名	川島インターチェンジ周辺整備の推進	分類	継続
実施計画事業名	川島インターチェンジ南側地区開発事業	予算書事業名	圏央道インターシティプラン推進事業費	関連計画	川島町都市計画マスタープラン	計画期間	- ~ - 年度

事業目的	<p>インター周辺重点開発地域である川島インターチェンジ南側地区の開発を推進することで、町の産業振興と雇用創出の核となる企業集積の基盤が確保され、地域経済の活性化を図る。</p>	<p>評価の考え方及び今後の対応策</p>	<p>今後、人口減少に伴う町税の減少や、老朽化した公共施設の改修等建設事業も重なることで、歳入歳出の乖離はさらに大きくなっていくと予想されることから、産業基盤(川島インターチェンジ周辺開発など)を整備拡充することで自主財源の確保及び新たな雇用の創出を図る。</p>
------	---	-----------------------	--

各年度の事業概要	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	・川島インターチェンジ南側地区の整備推進	・川島インターチェンジ南側地区の整備推進	・川島インターチェンジ南側地区の整備推進	・川島インターチェンジ南側地区の整備推進	・川島インターチェンジ南側地区の整備推進

年度 (単位:千円)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (当初予算額)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費	10	4,530	4,466	0	0
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源	10	4,530	4,466	0	0

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標	基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
工業用地の拡大面積	目標	-	関係機関との農林調整	関係機関との農林調整	都市計画法手続き着手	都市計画決定告示	約125ha (土地区画整理事業認可)
評価指標設定理由	実績	約90ha	関係機関との調整(県)	関係機関との調整(県)			
産業基盤を整備・拡充することで、地域経済の活性化及び雇用創出が図られる。	評価	-	B	A			

No.	重要2	戦略目標	つくる	施策名	地域資源の総動員による稼ぐ力の向上	分類	継続
実施計画事業名	地方創生推進事業		予算書事業名	地方創生推進事業	関連計画	KJブランド戦略	計画期間 - ~ - 年度

事業目的	地域の資源を生かした収益事業で稼ぎ、その利益を町に還元する＝「再投資」することで、地域経済の活性化を図る地域商社の活動を支援する。町民や町内事業者の「参加型」の組織を形成することで、地域生産性の向上やシビックプライドを醸成する。 KJブランド認証事業に取り組み、特産品等のブランド力の向上を図る。	評価の考え方及び今後の対応策	地域商社「一般社団法人さまちか」の核となる事業について模索中。一定の会員数を確保し、事業の企画立案の幅を広げたい。事業収益を拡充した上で法人運営の安定化を図り、自走できる体制を整備する必要がある。 KJブランド戦略について、第2期KJブランド戦略を基に、事業を計画していく。
------	---	----------------	--

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
各年度の事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・KJ審査、地域経営謝金</li> <li>・KJブランドPR委託</li> <li>・稼ぐ力委託</li> <li>・有料道路通行料</li> <li>・キッチンカー</li> <li>・移住支援ポータルサイト</li> <li>・地域おこし協力隊活動費</li> <li>・地域商社出資</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・KJ審査謝金</li> <li>・地域事業者販売力向上支援</li> <li>・情報発信ツール作成</li> <li>・KJブランドPR委託</li> <li>・地域商社出資</li> <li>・地域おこし協力隊業務委託料</li> <li>・その他印刷製本費等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・KJ審査謝金</li> <li>・KJブランドPR委託</li> <li>・地域ブランド戦略業務(特産品開発、KJブランド活性化、ビジネスコンテスト)</li> <li>・地域商社出資</li> <li>・地域おこし協力隊活動費</li> <li>・地域資源PR業務委託</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・KJ審査謝金</li> <li>・KJブランドPR委託</li> <li>・地域資源PR業務委託</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・KJ審査謝金</li> <li>・KJブランドPR委託</li> <li>・地域資源PR業務委託</li> </ul>

年度 (単位:千円)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (当初予算額)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費	22,184	26,787	25,360	1,560	1,560
財源内訳	国庫支出金	8,030	6,000	7,500	
	県支出金	6,316	6,400	3,200	
	地方債				
	その他				
一般財源	7,838	14,387	14,660	1,560	1,560

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標	基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
地域商社会員数(個人・法人)	目標	-	50	100	200	300	400	500
評価指標設定理由	実績	設立準備	1	68				
地域商社の会員登録者(団体)数にて測定する。地域商社の会員数を増加させることで、施策の目的である地域資源の総動員による稼ぐ力の向上につなげる。	評価	-	D	C				

No.	1	戦略目標	つくる	施策名	魅力ある土地利用	分類	継続	
実施計画事業名	都市計画総務事業		予算書事業名	都市計画総務事業	関連計画	都市計画マスタープラン	計画期間	- ~ - 年度

事業目的	町民生活や産業活動などの社会情勢や行財政運営の変化を踏まえ、マスタープランの見直しを行うことで、川島町の「目指すまちの姿」を明確化し、「町民」「事業者」「行政」が共有するとともに、都市計画の決定または変更を行う際の方針とする。	評価の考え方及び今後の対応策	民間、個人の土地利用による、市街化区域内の宅地開発等が進んだことにより宅地化率が向上している。 引き続き、民間事業者の開発とともに、都市計画制度を活用し、秩序ある土地利用の促進を図る。
------	---	----------------	---

各年度の事業概要	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	<ul style="list-style-type: none"> <li>建築確認概要書スキャニング業務</li> <li>開発許可等データ更新業務</li> <li>立地適正化計画策定検討</li> <li>都市計画審議会の運営</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>立地適正化計画策定検討</li> <li>都市計画審議会の運営</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>立地適正化計画策定検討</li> <li>都市計画審議会の運営</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>立地適正化計画策定素案作成</li> <li>都市計画審議会の運営</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>立地適正化計画策定</li> <li>都市計画審議会の運営</li> <li>都市計画基礎調査業務</li> </ul>

年度 (単位:千円)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (当初予算額)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費	1,894	677	677	677	17,677
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他 一般財源	1,894	677	677	677

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
市街化区域内の宅地化率	目標	-	92.2%	92.4%	92.6%	92.8%	93.0%	93.2%
	実績	92%	92.4%	92.4%				
評価指標設定理由	土地利用構想に基づいて進める魅力あるまちづくりの効果を測定するため、市街化区域内宅地化率の上昇について検証する。	-	A	A				

No.	2	戦略目標	つくる	施策名	地域特性を活かした農業振興	分類	継続	
実施計画事業名	新規就農総合支援事業		予算書事業名	農業者支援事業	関連計画	川島町農業経営基盤の強化に関する基本的な構想	計画期間	H26 ~ - 年度

事業目的	青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、経営が不安定な就農直後(3年以内)の所得を確保する交付金(国庫)を交付する。	評価の考え方及び今後の対応策	新規参入の課題としては、技術取得までの長さや一定の農業所得を得るまで長期間かかることがあげられる。補助金の返還にならないよう適切な営農指導を実施する。
------	---	----------------	---

各年度の事業概要	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	・新規就農の支援 (補助・サポータ謝金)	・新規就農の支援 (補助・サポータ謝金) ・広報特設コーナー・HPでの周知	・新規就農の支援 (補助・サポータ謝金) ・広報特設コーナー・HPでの周知	・新規就農の支援 (補助・サポータ謝金) ・広報特設コーナー・HPでの周知	・新規就農の支援 (補助・サポータ謝金) ・広報特設コーナー・HPでの周知

年度 (単位:千円)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (当初予算額)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
事業費	6,603	3,031	4,521	2,271	2,271	
財源内訳	国庫支出金	6,584	3,011	4,521	2,271	2,271
	県支出金					
	地方債					
	その他					
一般財源	19	20	0	0	0	

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標	基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
新規就農総合支援事業 活用者数	目標	-	12人	12人	13人	13人	14人
評価指標設定理由	実績	12人	12人	12人			
補助事業を活用した件数を指標とする。	評価	-	A	A			

No.	3	戦略目標	つくる	施策名	活気ある事業活動の推進	分類	継続
実施計画事業名	商工業振興事業		予算書事業名	商工業振興事業	関連計画	計画期間	- ~ - 年度

事業目的	町内事業者が円滑に事業を展開できるよう川島町商工会が基盤整備や販路開拓、経営相談等の支援を実施し、地元商工業の発展を図れるように支援する。	評価の考え方及び今後の対応策	商工会事業の実績に大きな変化がないため、今後は事業の進捗管理と業務改善を川島町商工会とともに進めていく。 また、アフターコロナにおける観光振興を民間業者との連携により振興政策を練っていく。
------	---	----------------	---

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	商工会事業費の補助	商工会事業費の補助	商工会事業費の補助	商工会事業費の補助	商工会事業費の補助

年度 (単位:千円)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (当初予算額)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費	24,983	10,573	10,573	10,573	10,573
財源内訳	国庫支出金	14,514			
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源	10,469	10,573	10,573	10,573	10,573

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
商工会員数	目標	-	525	545	550	560	570	580
	実績	505	539	534				
評価指標設定理由								
活性化や事業効果の度合いを会員数で測定する。	評価	-	A	B				



No.	4	戦略目標	つくる	施策名	地域資源を活かした観光振興	分類	継続
実施計画事業名	観光振興事業		予算書事業名	観光振興事業	関連計画	計画期間	- ~ - 年度

事業目的	地域資源を活用した周遊ルート観光やリピーターを獲得するための誘客事業を展開する。	評価の考え方及び今後の対応策	新型コロナウイルス感染症の位置づけが引き下げられたことから、従来の観光事業が全国的に、またインバウンド需要も回復することが想定されるため、川島町商工会、民間事業者、学校等と連携を図りながら観光振興スキームを策定する。
------	--	----------------	--

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
各年度の事業概要	観光PRグッズの作成	・観光PRグッズの作成 ・かわみん着ぐるみ更新業務委託	・観光PRグッズの作成 ・商工会と連携しての中期的な観光施策の策定 ・他市町との連携による広域観光ルートの策定 ・ロケ地を活用した観光振興 ・各種イベントの開催	・観光PRグッズの作成 ・商工会と連携しての中期的な観光施策の策定 ・他市町との連携による広域観光ルートの策定 ・ロケ地を活用した観光振興 ・各種イベントの開催 ・かわべえ着ぐるみ更新業務委託	・観光PRグッズの作成 ・商工会と連携しての中期的な観光施策の策定 ・他市町との連携による広域観光ルートの策定 ・ロケ地を活用した観光振興 ・各種イベントの開催

年度 (単位:千円)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (当初予算額)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費	1,469	2,713	2,713	4,413	2,713
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源	1,469	2,713	2,713	4,413	2,713

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
交流人口	目標	-	55,000人	60,000人	65,000人	70,000人	75,000人	80,000人
	実績	56,177人	5,906人	6,662人				
評価指標設定理由								
交流人口の増加により測定する。	評価	-	D	C				

No.	5	戦略目標	つくる	施策名	新たな行政サービスの導入	分類	継続	
実施計画事業名	DX推進事業		予算書事業名	DX推進事業	関連計画	川島町DX推進計画	計画期間	R4 ~ - 年度

事業目的	ICTを活用した新たな行政サービスを導入し、町民の利便性向上や職員の業務改善・効率化を図り、新たな価値の創出に取り組む。	評価の考え方及び今後の対応策	令和3年度にDX推進計画を策定し、行政事業への新たな技術導入として、令和3年度中にAI相談パートナー、令和4年度中にWeb会議相談・混雑状況把握システム・書かない窓口等各種システムを導入したので、評価はAとした。今後も継続して川島町DX推進計画に沿って事業を展開し、電子申請メニューの拡充や業務のペーパーレス化など、住民の利便性向上と職員の業務効率化等実現する。また国の先行実施事業(ガバメントクラウド・基幹系システム標準化・こどもの杜)についても、国の動向に合わせ、先進技術の検討や、基盤整備について積極参入を行う。
------	--	----------------	---

各年度の事業概要	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガバメントクラウド先行事業の実施</li> <li>・チャットツール導入及び活用</li> <li>・タブレット端末の整備</li> <li>・デジタル人材派遣制度による派遣</li> <li>・マイナポータル活用推進事業</li> <li>・書かない窓口システム(かんたん窓口システム)導入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・システム標準化事業(システム構成設計、移行計画策定)の実施</li> <li>・こどもの杜実証事業</li> <li>・電子申請ツール検討</li> <li>・DX推進に関する意識改革(地域情報化アドバイザー派遣)</li> <li>・デジタルディバイド対策</li> <li>・議会タブレット導入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・システム標準化事業(標準システムへの移行、ガバメントクラウド移行テスト作業)の実施</li> <li>・ガバメントクラウド庁内設置ルーター保守</li> <li>・電子申請ツール導入</li> <li>・RPA業務利用検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・システム標準化事業(ガバメントクラウド移行)の実施</li> <li>・ガバメントクラウド庁内設置ルーター保守</li> <li>・電子申請ツール利用料</li> <li>・要支援者システム導入</li> <li>・要支援者システム利用料</li> <li>・マイナンバーカード利活用ツール(マイタク)導入</li> <li>・マイタク利用料</li> <li>・RPA業務利用検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・システム標準化事業(ガバメントクラウド移行)の運用</li> <li>・ガバメントクラウド庁内設置ルーター保守</li> <li>・RPA導入</li> <li>・RPA利用料</li> <li>・要支援者システム利用料</li> <li>・電子申請ツール利用料</li> <li>・マイタク利用料</li> </ul>

年度(単位:千円)	令和4年度(決算額)	令和5年度(当初予算額)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
事業費	12,105	5,242	8,572	16,200	12,094	
財源内訳	国庫支出金	3,003	3,872	3,872	4,222	
	県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	9,102	1,370	4,700	11,978	12,094

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標	基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
行政事業への新たな技術導入数	目標	-	1件	1件	2件	2件	3件	4件
	実績	0件	1件	3件				
評価指標設定理由								
新たなサービスの提供度を技術導入数により測定する。R7までに3件以上、R12までに10件以上の導入を達成する。	評価	-	A	A				

No.	6	戦略目標	つくる	施策名	官民連携の推進	分類	継続
実施計画事業名	公共施設等総合管理事業	予算書事業名	公共施設等総合管理事業	関連計画		計画期間	- ~ - 年度

事業目的	平成の森公園のリニューアルによる地域経済の活性化や関係人口及び交流人口の拡充を実現するため、周辺施設も含めた長期的な土地利用構想を策定する。策定した構想に基づき、関係機関と横断的にまちづくりを進め、政策間連携や民間活力の導入、町民参画による地方創生を実現する。	評価の考え方及び今後の対応策	公共施設等総合管理事業については、場当たりの整備をせず、町の将来を見据えた一体的な活用構想をまとめた上で、産官学が連携したまちづくりを進める必要がある。今後は、政策研究やプロジェクトチームの活用方針を基に、町の意思決定を行い、サウンディング調査やPFIによる整備を進める。
------	--	----------------	--

各年度の事業概要	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	・行政系地域全体構想策定	・行政系地域全体構想調査・研究	・行政系地域全体構想調査・研究 ・庁舎内PT全体構想研究	・行政系地域全体構想調査・研究 ・サウンディング調査	・行政系地域全体構想策定

年度 (単位:千円)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (当初予算額)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費	986	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源	986	0	0	0	0

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
PPP/PFI事業検討数	目標	-	1件	1件	1件	2件	3件	3件
	実績	0件	1件	1件				
評価指標設定理由								
PPP/PFI事業検討数の回数で評価する。今後は官だけでなく、民間企業や学問の知見や資源を生かした、まちづくりをするため。		評価	-	A	A			

### 戦略目標4 そだてる「未来へはばたく人財をそだてる」施策別 代表事業実施計画

No.	施策名	代表事業名	概算事業費（千円）		
			R6	R7	R8
重要1	夢を育む新たな学校づくり	学校統合推進事業	693,458	4,274	4,274
重要2-1	社会を生き抜く人財の育成	学力向上事業（小学校）	20,100	20,100	20,100
重要2-2		学力向上事業（中学校）	22,700	22,700	22,700
1	新たな生涯学習の推進体制構築	総合型地域スポーツクラブ活動推進事業	4,560	2,400	2,400
2	生きる力を育む学校教育の推進	学力向上事業（一部再掲）	22,700	22,700	22,700
3	心と体を育む教育環境の整備・充実	学校応援団事業	0	0	0
4	多様な学習機会の充実	地域学校協働活動推進事業（再掲）	2,087	2,087	2,087
5	子育て支援・児童福祉の充実	子育て支援総合センター管理運営事業（再掲）	26,446	26,666	26,887
年度ごと概算事業計			792,051	100,927	101,148

### 戦略目標4 評価指標

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
各種講座・教室参加者数	目標	-	660人	670人	680人	700人	720人	735人
	実績	651人	452人	593人				
評価指標設定理由								
戦略目標4で掲げる取組の成果を測定するため、「各種講座・教室参加者数」によって町民の皆さまが自身の能力やスキル等を向上した機会数を測り、活躍する人財の育成効果を確認する。	評価	-	D	D				

No.	重要1	戦略目標	そだてる	施策名	夢を育む新たな学校づくり	分類	拡充・一部新規
実施計画事業名	学校統合推進事業		予算書事業名	小中一貫教育推進事業	関連計画	公共施設個別施設計画	計画期間 R3 ~ - 年度

事業目的	川島町立小学校規模適正化計画に基づき、川島町小中一貫教育推進協議会にて、学校、保護者、地域の意見を取り入れながら、小中一貫教育実現を進め、令和7年度に川島町小中一貫教育校を開校する。	評価の考え方及び今後の対応策	小中一貫教育推進協議会専門部会の意見交換会、施設一体型小中一貫教育校の視察を行い、令和3年度に「川島町の小中一貫教育校の開校に向けて(まとめ)」を作成し、令和4年度には専門部署を設置し、校舎の建築等の研究を重ねた。今後も、専門部会との協議や先進校視察を重ねていく中で、子どもたちのためになる施設一体型、施設分離型の小中一貫教育校の開校に向けて準備を進めていく。
------	---	----------------	--

各年度の事業概要	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	・小中一貫教育の会議や研究などに要する経費 ・専門部署の設置	・小中一貫教育の検討会議及び研究 ・川島中学校(小中一貫教育校)校舎改修 ・小学校低学年棟設計 ・中学校既存校舎改造設計 ・小学校統合協議会の設置	・小中一貫教育の検討会議及び研究 ・小学校低学年棟建築 ・中学校校舎改造工事 ・小学校統合協議会等の運営 ・小・中学校通学区域審議会の設置	・小中一貫教育校開校 ・小中一貫教育校開校後の検討会議、研究及び検証 ・オンラインを用いた施設分離型手中一貫教育校における授業展開	・小中一貫教育校開校後の検討会議、研究、改善及び検証 ・オンラインを用いた施設分離型手中一貫教育校授業における授業展開

年度 (単位:千円)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (当初予算額)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費	3,248	65,665	693,458	4,274	4,274
財源内訳	国庫支出金		177,017		
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源	3,248	65,665	516,441	4,274	4,274

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標	基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
小中一貫教育校計画の推進	目標	-	協議・研究	専門部署の設置	既存校舎の改修	校舎増築工事	事業計画決定	事業計画検証
評価指標設定理由	実績	検討開始	協議・研究	専門部署の設置				
本施策の効果を測定するため、小中一貫教育校計画の進捗状況を確認することで、子どもたちにとって適正規模の学校づくりの進捗を検証する。前期基本計画の計画期間では、※つばさ南・北小学校、川島中学校を対象に検討を進める。	評価	-	A	A				

No.	重要2-1	戦略目標	そだてる	施策名	社会を生き抜く人財の育成	分類	継続
実施計画事業名	学力向上事業(小学校)		予算書事業名	学力向上推進事業(小学校)	関連計画	計画期間	- ~ - 年度

事業目的	<p>学力向上を図るため、小中学校長を構成員とする学力向上推進委員会を設置し、県学力学習状況調査・全国学力学習状況調査の分析、川島独自の一斉テストの実施・分析を行い、学習指導の改善策を検討する。また、学力向上を目指した啓発文書を児童生徒の保護者に配布するとともに、家庭学習ノートを作成し、学校と家庭との連携を図りながら、教員による細やかな指導を実施する。GIGAスクール構想による学習用端末の導入に伴い、家庭への持ち帰りを実現し、ドリル教材等の活用により学力向上を図る。また、全ての学力の基本となる日本語力の向上を目的に、令和元年度から小学校5年生、6年生を対象に日本語検定受験推進事業を実施している。</p>	<p>評価の考え方及び今後の対応策</p>	<p>令和4年度も児童の学力向上のために、県学力学習状況調査・全国学力学習状況調査を分析し、川島町の児童の学習状況の傾向を精査し、必要な教育を実施した。日本語検定受験推進事業(令和元年度から実施)を継続し、全ての科目において、問題の読解力を高めた。また、学習用端末の導入に伴い、AIDドリル教材、授業支援ソフトを引き続き活用し、学力向上に繋げた。引き続き、テストの分析、学習用端末の活用も含めた中で、さらなる学力向上に繋げられるよう学校とも連携し、事業を進めていく。</p>
------	---	-----------------------	---

各年度の事業概要	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	<ul style="list-style-type: none"> <li>県学力学習状況調査・全国学力学習状況調査、川島独自の一斉テストの実施・分析</li> <li>家庭学習ノートの配布</li> <li>学習用端末及びAIDドリル教材の学校及び家庭での活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県学力学習状況調査・全国学力学習状況調査、川島独自の一斉テストの実施・分析</li> <li>家庭学習ノートの配布</li> <li>学習用端末及びAIDドリル教材の学校及び家庭での活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県学力学習状況調査・全国学力学習状況調査、川島独自の一斉テストの実施・分析</li> <li>家庭学習ノートの配布</li> <li>学習用端末及びAIDドリル教材の学校及び家庭での活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県学力学習状況調査・全国学力学習状況調査、川島独自の一斉テストの実施・分析</li> <li>家庭学習ノートの配布</li> <li>学習用端末及びAIDドリル教材の学校及び家庭での活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県学力学習状況調査・全国学力学習状況調査、川島独自の一斉テストの実施・分析</li> <li>家庭学習ノートの配布</li> <li>学習用端末及びAIDドリル教材の学校及び家庭での活用</li> </ul>

年度 (単位:千円)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (当初予算額)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費	18,984	20,098	20,100	20,100	20,100
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源	18,984	20,098	20,100	20,100	20,100

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標	基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
埼玉県学力・学習状況調査全学年・全科目平均点以上教科数(4年生:5年生:6年生:2教科) ※重要施策2-2と合算値	目標	-	4/14教科	5/14教科	6/14教科	7/14教科	8/14教科
評価指標設定理由	実績	3/14教科	5/14教科	3/14教科			
全て児童が、高い学力を身につけることで、社会を生き抜く人財を育成する	評価	-	A	D			



No.	重要2-2	戦略目標	そだてる	施策名	社会を生き抜く人材の育成	分類	継続
実施計画事業名	学力向上事業(中学校)	予算書事業名	学力向上推進事業(中学校)	関連計画		計画期間	- ~ - 年度

事業目的	学力向上を図るため、小中学校長を構成員とする学力向上推進委員会を設置し、県学力学習状況調査・全国学力学習状況調査の分析、川島独自の一斉テストの実施・分析を行い、学習指導の改善策を検討する。 また、学力向上を目指した啓発文書を生徒の保護者に配布するとともに、学校と家庭との連携を図りながら、教員による細やかな指導を実施する。 GIGAスクール構想による学習用端末の導入に伴い、家庭への持ち帰りを実現し、AIDリル教材等の活用により学力向上を図る。	評価の考え方及び今後の対応策	令和4年度も生徒の学力向上のために、県学力学習状況調査・全国学力学習状況調査を分析し、川島町の生徒の学習状況の傾向を精査し、必要な教育を実施した。学習用端末の導入に伴い、AIDリル教材、授業支援ソフトを引き続き活用した。また、英語検定受検推進事業(平成29年度から実施)を継続し、グローバル社会において、活躍できる英語力を全ての生徒に身につけさせることを図り、学力向上に繋げた。 引き続き、テストの分析、学習用端末の活用も含めた中で、さらなる学力向上に繋げられるよう学校とも連携し、事業を進めていく。
------	--	----------------	---

各年度の事業概要	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	<ul style="list-style-type: none"> <li>県学力学習状況調査・全国学力学習状況調査、川島独自の一斉テストの実施・分析</li> <li>啓発文書の保護者への配布</li> <li>学習用端末及びAIDリル教材の学校及び家庭での活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県学力学習状況調査・全国学力学習状況調査、川島独自の一斉テストの実施・分析</li> <li>学習用端末及びAIDリル教材の学校及び家庭での活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県学力学習状況調査・全国学力学習状況調査、川島独自の一斉テストの実施・分析</li> <li>学習用端末及びAIDリル教材の学校及び家庭での活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県学力学習状況調査・全国学力学習状況調査、川島独自の一斉テストの実施・分析</li> <li>学習用端末及びAIDリル教材の学校及び家庭での活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県学力学習状況調査・全国学力学習状況調査、川島独自の一斉テストの実施・分析</li> <li>学習用端末及びAIDリル教材の学校及び家庭での活用</li> </ul>

年度 (単位:千円)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (当初予算額)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費	18,603	22,617	22,700	22,700	22,700
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	18,603	22,617	22,700	22,700

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標	基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
埼玉県学力・学習状況調査全学年・全教科平均点以上教科数(1年生:2教科、2、3年生:3教科) ※重要施策2-1と合算値	目標	-	4/14教科	5/14教科	6/14教科	7/14教科	8/14教科
評価指標設定理由	実績	3/14教科	5/14教科	3/14教科			
全て生徒が、高い学力を身につけることで、社会を生き抜く人材を育成する	評価	-	A	D			



No.	1	戦略目標	そだてる	施策名	新たな生涯学習の推進体制構築	分類	継続
実施計画事業名	総合型地域スポーツクラブ活動推進事業	予算書事業名	スポーツ振興事業	関連計画	川島町教育大綱、川島町教育行政重点施策、川島町生涯学習推進総合計	計画期間	- ~ - 年度

事業目的	誰でも自由に気軽にいつまでもスポーツに親しめるよう、総合型地域スポーツクラブの事業を支援する。	評価の考え方及び今後の対応策	立ち上げから数年は事務所の整備や活動に必要な物品購入などハード面での投資が必要であり、赤字運営にならないよう財政的な支援が必要である。また、令和3年度からは、totoからの助成を受け運営を行っているが、助成対象経費が限定的であるため、町単独で財政的な支援を行う必要がある。
------	---	----------------	--

各年度の事業概要	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	クラブ運営に支援(補助)	クラブ運営に支援(補助)	クラブ運営に支援(補助)	クラブ運営に支援(補助)	クラブ運営に支援(補助)

年度 (単位:千円)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (当初予算額)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費	4,429	4,560	4,560	2,400	2,400
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他	3,188	4,104	4,104	
一般財源	1,241	456	456	2,400	2,400

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標	基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総合型地域スポーツクラブ会員数	目標	-	140人	150人	160人	170人	180人
	実績	116人	152人	225人			
評価指標設定理由							
総合型地域スポーツクラブが会費収入により自主運営することを目指す。毎年10人ずつ増やし、R7に会員数180人を達成する。	評価	-	A	A			

No.	2	戦略目標	そだてる	施策名	生きる力を育む学校教育の推進	分類	継続
実施計画事業名	学力向上事業(一部再掲)	予算書事業名	学力向上推進事業(中学校)	関連計画		計画期間	- ~ - 年度

事業目的	<p>学力向上を図るため、小中学校長を構成員とする学力向上推進委員会を設置し、県学力学習状況調査・全国学力学習状況調査の分析、川島独自の一斉テストの実施・分析を行い、学習指導の改善策を検討する。</p> <p>また、学力向上を目指した啓発文書を生徒の保護者に配布するとともに、学校と家庭との連携を図りながら、教員による細やかな指導を実施する。</p> <p>GIGAスクール構想による学習用端末の導入に伴い、家庭への持ち帰りを実現し、AIDリル教材等の活用により学力向上を図る。</p>	評価の考え方及び今後の対応策	<p>生徒の学力向上のために、県学力学習状況調査・全国学力学習状況調査を分析し、川島町の生徒の学習状況の傾向を精査し、必要な教育を実施する必要がある。また、英語検定受検推進事業(平成29年度から実施)を継続し、グローバル社会において、活躍できる英語力を全ての生徒に身につけさせることを目指す。対策として、学習用端末から英検対策AI教材の活用、ALT、私塾と連携した英検対策講座の実施を行う。</p>
------	---	----------------	---

各年度の事業概要	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	<ul style="list-style-type: none"> <li>県学力学習状況調査・全国学力学習状況調査、川島独自の一斉テストの実施・分析</li> <li>学習用端末を活用した英検対策の実施(AIDリル教材等)</li> <li>ALT、私塾と連携した英検対策講座の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県学力学習状況調査・全国学力学習状況調査、川島独自の一斉テストの実施・分析</li> <li>学習用端末を活用した英検対策の実施(AIDリル教材等)</li> <li>ALT、私塾と連携した英検対策講座の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県学力学習状況調査・全国学力学習状況調査、川島独自の一斉テストの実施・分析</li> <li>学習用端末を活用した英検対策の実施(AIDリル教材等)</li> <li>ALT、私塾と連携した英検対策講座の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県学力学習状況調査・全国学力学習状況調査、川島独自の一斉テストの実施・分析</li> <li>学習用端末を活用した英検対策の実施(AIDリル教材等)</li> <li>ALT、私塾と連携した英検対策講座の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県学力学習状況調査・全国学力学習状況調査、川島独自の一斉テストの実施・分析</li> <li>学習用端末を活用した英検対策の実施(AIDリル教材等)</li> <li>ALT、私塾と連携した英検対策講座の実施</li> </ul>

年度 (単位:千円)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (当初予算額)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費	18,603	22,617	22,700	22,700	22,700
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	18,603	22,617	22,700	22,700

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
中学2・3年生英検4級以上取得率	目標	-	50%	53%	55%	57%	60%	65%
	実績	46.1%	39.3%	31%				
評価指標設定理由								
グローバル社会において活躍できる人材育成を目指し、全生徒の英検取得率の向上を目指す。		-	D	D				

No.	3	戦略目標	そだてる	施策名	心と体を育む教育環境の整備・充実	分類	継続
実施計画事業名	学校応援団事業		予算書事業名	学校教育事業		関連計画	
計画期間	-						～
年度							-

事業目的	ボランティアの協力をいただき、教育環境の整備・充実を推進し、児童・生徒に対し、教育における切れ目のない支援を図る。	評価の考え方及び今後の対応策	令和4年度は新型コロナウイルス感染症前の活動に戻りつつあり、学校応援団事業活動も徐々に再開し、それに合わせて登録者数もコロナ前の人数に戻ってきたことから、評価が上昇した。 令和5年度は新型コロナウイルス感染症の状況も引き続き注視しつつ、広報紙等を活用して制度の周知を図り、また、学校とも連携し、意欲ある方の登録を募って登録者数をさらに増やしていきたい。
------	---	----------------	---

各年度の事業概要	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	・学校応援団の支援、周知広報	・学校応援団の支援、周知広報	・学校応援団の支援、周知広報	・学校応援団の支援、周知広報	・学校応援団の支援、周知広報

年度 (単位:千円)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (当初予算額)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費	0	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	0	0	0	0

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標	基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
学校応援団登録者数	目標	-	360人	365人	370人	380人	390人
評価指標設定理由	実績	355人	340人	394人			
学校応援団の登録者数を測り、児童・生徒が安全・安心に学校生活を送ることができる環境を整備する。	評価	-	D	A			

No.	4	戦略目標	そだてる	施策名	多様な学習機会の充実	分類	継続
実施計画事業名	地域学校協働活動推進事業(再掲)	予算書事業名	地域学校協働活動推進事業	関連計画	川島町教育大綱、川島町教育行政重点施策、川島町生涯学習推進総合計	計画期間	- ~ - 年度

事業目的	地域と学校がお互いに協力して、子どもを中心に大人もまなび・活動できる「みんなの居場所(ひろば活動)」をつくることで、地域全体で子どもを育てるとともに、地域をげんきにするための国庫補助事業を実施する。	評価の考え方及び今後の対応策	地域学校協働活動推進員のネットワークを利用することで、新たな人材を獲得し目標を達成できた。今後の実践を通じながら人材の獲得を継続して一層の事業の推進を図りたい。
------	---	----------------	--

各年度の事業概要	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コーディネーターによる活動の支援</li> <li>・地域の団体や人材の発掘</li> <li>・講座や活動の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コーディネーターによる活動の支援</li> <li>・地域の団体や人材の発掘</li> <li>・講座や活動の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コーディネーターによる活動の支援</li> <li>・地域の団体や人材の発掘</li> <li>・講座や活動の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コーディネーターによる活動の支援</li> <li>・地域の団体や人材の発掘</li> <li>・講座や活動の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コーディネーターによる活動の支援</li> <li>・地域の団体や人材の発掘</li> <li>・講座や活動の実施</li> </ul>

年度 (単位:千円)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (当初予算額)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費	1,904	2,087	2,087	2,087	2,087
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金	1,046	1,258	1,258	1,258
	地方債				
	その他				
一般財源	858	829	829	829	829

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標	基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
各種事業を実施することができる人材の数	目標	-	16人	16人	17人	17人	18人
	実績	15人	19人	20人			
評価指標設定理由							
事業目的を達成するには、魅力的な事業を企画・運営できる人材が必要不可欠であるため。	評価	-	A	A			

No.	5	戦略目標	そだてる	施策名	子育て支援・児童福祉の充実	分類	継続	
実施計画事業名	子育て支援総合センター管理運営事業(再掲)		予算書事業名	子育て支援総合センター管理運営事業	関連計画	川島町子ども・子育て支援事業計画	計画期間	H29 ~ - 年度

事業目的	安心して出産・子育てができるよう、子育て親子が気軽に集い交流できる施設(子育て支援総合センター「かわみんハウス」)として運営する。 青少年健全育成に寄与するよう、中高生・青少年向け事業の展開を行う。 令和6年度に令和7年度からの指定管理者の選定を行う。今後の施設及びサービスを検討する。	評価の考え方及び今後の対応策	来館者は、年々増加しているが、町内在住者の利用割合が減っている。 魅力ある事業を展開し、町内在住者にとって、利用しやすい施設を目指す。
------	---	----------------	--

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
各年度の事業概要	・川島町子育て支援総合センター管理運営(施設管理・事業企画及び運営)	・川島町子育て支援総合センター管理運営(施設管理・事業企画及び運営) ・遊具修繕工事 中高生参加事業: R5年8月かわみんまつり参加ボランティア 中学生1名・高校生0名	・川島町子育て支援総合センター管理運営(施設管理・事業企画及び運営) 令和7年度からの指定管理者選定を行う。 ・工事請負費 電気自動車充電機設置に伴う北側駐車場アスファルト舗装等工事	・川島町子育て支援総合センター管理運営(施設管理・事業企画及び運営)	・川島町子育て支援総合センター管理運営(施設管理・事業企画及び運営)

年度 (単位:千円)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (当初予算額)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
事業費	28,235	33,074	26,446	26,666	26,887	
財源内訳	国庫支出金	3,412	2,991	3,083	3,083	3,083
	県支出金	2,991	2,991	3,083	3,083	3,083
	地方債					
	その他	122	141	141	141	141
	一般財源	21,710	26,951	20,139	20,359	20,580

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
来館者数(町内在住者)	目標	-	3,800人	4,400人	5,100人	5,800人	7,000人	8,000人
	実績	3,129人	3,830人	4,892人				
評価指標設定理由								
町内在住者にとって、利用しやすい事業・施設を目指す。	評価	-	A	A				